

平成 27 年度

# 金沢市埋蔵文化財調査年報

平成 28 年 4 月

(2016 年)

金 沢 市

(金沢市埋蔵文化財センター)



## 例　　言

1. 本書は、金沢市都市政策局歴史文化部文化財保護課および金沢市埋蔵文化財センターが平成 27 年度に行った埋蔵文化財保護行政の概要、成果および結果を公表することを目的として刊行するものである。
2. 本書は、平成 27 年度に実施した埋蔵文化財の発掘調査、分布調査、および教育・普及・啓発活動に関するを中心編集したものである。
3. 本書に掲載した埋蔵文化財の遺構・遺物等の写真は、それぞれの担当者が撮影した。
4. 各遺跡の遺跡番号は石川県遺跡・文化財情報システム（平成 25 年度版）及び金沢市遺跡地図に準拠している。

## 目　　次

1. 埋蔵文化財発掘調査等事業 .....	1
2. 埋蔵文化財分布調査事業 .....	27
3. 教育・普及・啓発活動事業 .....	35
4. 組織 .....	46

# 1. 埋蔵文化財発掘調査等事業

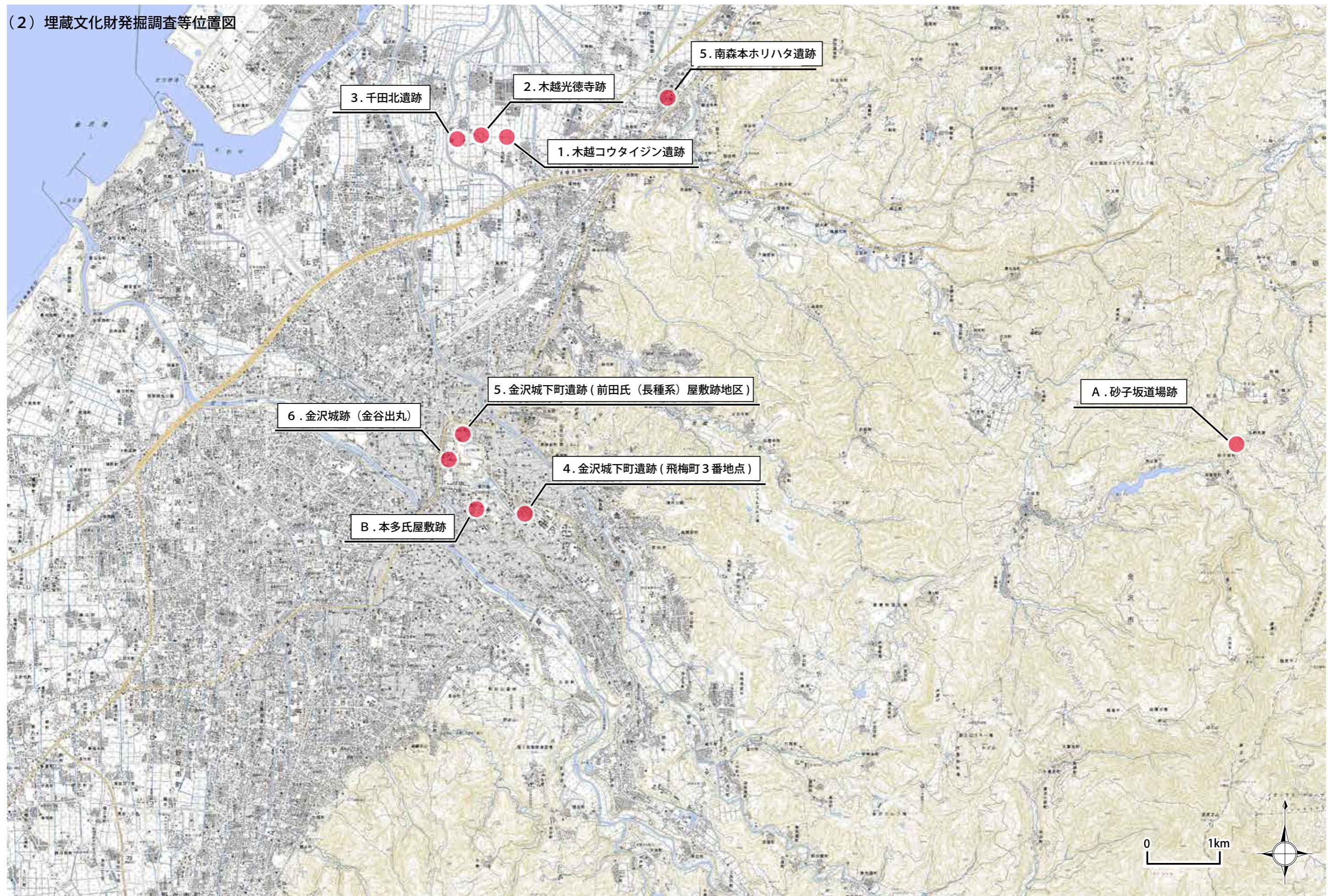
## (1) 埋蔵文化財発掘調査等一覧

No.	調査地	調査面積	調査原因	調査期間	立地	経費(千円)	出土遺物数	時代	主な遺構	主な遺物
<b>緊急発掘調査</b>										
木越コウタイジン遺跡										
1	金沢市 木越町地内	1,350m <sup>2</sup>	道路築造 (公 共)	20150508 ～ 20150709	沖積地	70,761 (掘削等含まず)	13 箱	奈良・平安 鎌倉 室町	平地式建物 土坑 方形溝 ピット	須恵器 土師器 陶磁器 木製品 石製品 金属製品
木越光徳寺跡										
2	金沢市 木越町地内	3,000m <sup>2</sup>	道路築造 (公 共)	20150929 ～ 20151215	沖積地	※木越コウタイ ジン遺跡・千田 北遺跡と合算	40 箱	奈良・平安 鎌倉 室町 安土 桃山 江戸	方形溝 寺院区画溝 掘立柱建物 井戸 土坑 柱穴	須恵器 土師器 陶磁器 石製品 木製品 漆器 錢貨
千田北遺跡										
3	金沢市 千田町地内	3,500m <sup>2</sup>	道路築造 (公 共)	20150907 ～ 20160426	沖積地	※木越コウタイ ジン遺跡・木越 光徳寺跡と合算	40 箱	弥生、古 墳、平安、 鎌倉、室町	掘立柱建物 井戸 溝 土坑 柱穴	弥生土器 管玉 銅鑓 土師器 須恵器 木製品
金沢城下町遺跡 (飛梅町3番地点)										
4	金沢市 飛梅町地内	100m <sup>2</sup>	博物館改修 (公 共)	20150717 ～ 20150831	台地	3,900	5 箱	江戸	井戸 ピット 土坑 溝	陶磁器 土器 瓦 木製品 金属製品
金沢城下町遺跡 (前田氏 (長種系) 屋敷跡地区)										
5	金沢市 大手町地内	16m <sup>2</sup>	個人住宅建設 (民 間)	20151207 ～ 20151211	台地端部	478	1 箱	江戸	土坑	陶磁器 土器 瓦 石製品 金属製品
金沢城跡 (金谷出丸)										
6	金沢市 尾山町地内	100m <sup>2</sup>	建物新築 (民 間)	20150615 ～ 20150806	台地端部	3,294	90 箱	江戸 弥生 繩文	石組遺構 布掘遺構 瓦廃棄土坑 ピッ ト 焼土層	陶磁器 土器 瓦 石製品 金属製品 弥生土器 繩文土器
南森本ホリハタ遺跡										
7	金沢市 南森本町地内	730m <sup>2</sup>	宅地造成 (民 間)	20151006 ～ 20151203	沖積平野	3,599	6 箱	弥生 奈良 平安 鎌倉 室町	掘立柱建物 井戸 区画溝 土坑 豎穴状遺構	須恵器 土師器 木製品 石製品 金属製品

No.	調査地	調査面積	調査原因	調査期間	立地	経費(千円)	出土遺物数	時代	主な遺構	主な遺物
<b>学術調査</b>										
砂子坂道場跡 (伝光徳寺地区・伝善徳寺地区) 【加賀一向一揆関連遺跡と古道】										
A	金沢市 砂子坂町地内	95m <sup>2</sup>	学術調査 (公 共)	20151016 ～ 20151216	丘陵	1,446	1 箱	室町	堀	—
金沢城下町遺跡 (本多氏屋敷跡地区)										
B	金沢市 本多町三丁目地内	24m <sup>2</sup>	学術調査 (公 共)	20151013 ～ 20151029	台地斜面	1,010	—	江戸	道跡 石段 石垣裏込	陶磁器 土器 瓦 金属製品

※「出土遺物数」は容量 36ℓ テンバコに換算した数量である。

(2) 埋蔵文化財発掘調査等位置図



### (3) 埋蔵文化財発掘調査概要

#### 1. 木越コウタイジン遺跡 いせき

(遺跡番号 県: 159400 市: 594)

所 在 地: 金沢市木越町地内

北緯  $36^{\circ} 36' 50''$

東経  $136^{\circ} 37' 58''$

調査面積: 1,350m<sup>2</sup>

種 別: 集落跡

主な時代: 奈良、平安、鎌倉、室町

担 当: 景山 和也



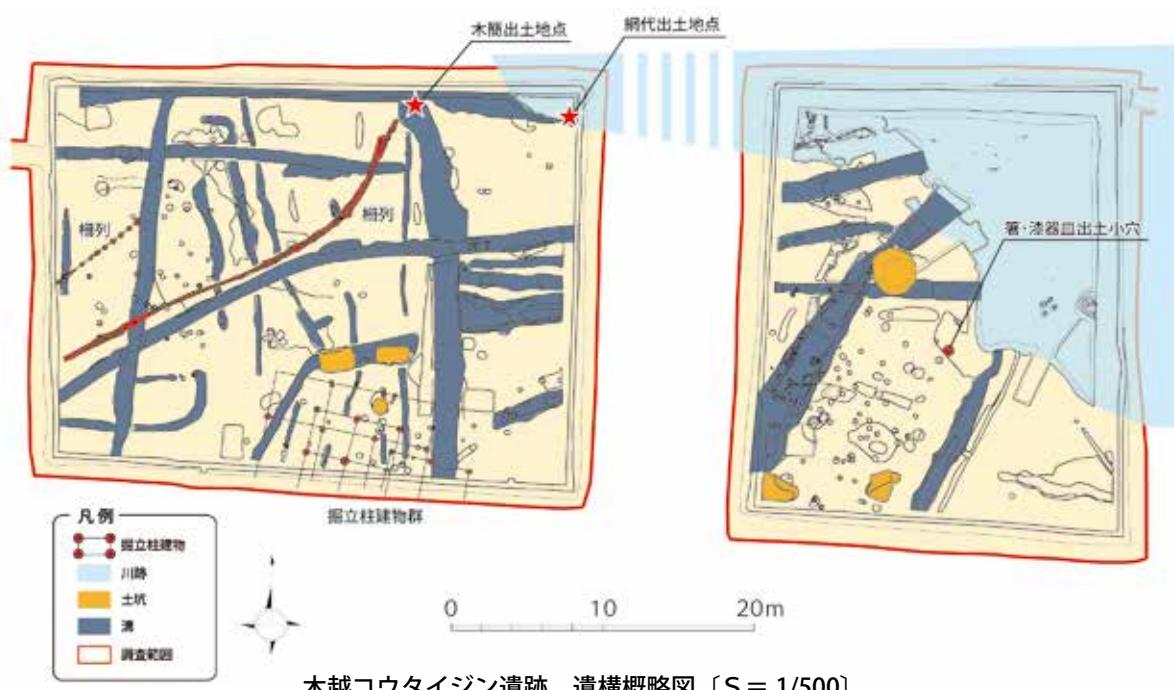
#### ■ 遺跡の概要

木越コウタイジン遺跡は、都市計画道路（金沢外環状道路）木越福増線築造工事に先立つ試掘調査で新たに発見された遺跡で、天正8年（1580）、木越光徳寺を拠点とする一向宗と佐久間盛政との戦いの際、一向宗の軍勢が退いた陣跡（後退陣）との伝承が残る地区である。

発掘調査では、礎板を備えた掘立柱建物、区画溝、土坑などを検出した。掘立柱建物は調査区南側に展開する。調査区の西側では北東—南西方向に軸を探る柵列が2条検出されており、うち1条は溝状の遺構中に小穴が連続する形式で、板塀状の遺構と考えられる。

調査区北側には北西 - 南東方向に流れる河川跡があり、遺跡の北端を示す。左岸からは、中世に属する長辺約140cm、短辺約110cmの網代が出土しており、建物の壁材と考えられる。西側調査区を南北に走る区画溝からは木簡が1点出土している。このほか、大量の箸と漆器皿1枚が埋められた小穴を確認している。

遺跡の中心は調査区外南側にあると考えられ、柵列等、伝承にある陣跡を彷彿とさせる遺構の存在はあるものの、遺跡の性格付けについては今後の課題である。



木越コウタイジン遺跡 遺構概略図 [S = 1/500]



木越コウタイジン遺跡（西から）



掘立柱建物群（南東から）



河川跡 網代出土状況（東から）



箸状木製品・漆器皿出土状況（南から）



作業風景

## 2. 木越光徳寺跡

(遺跡番号 県: 146800 市: 468)

所在 地: 金沢市木越町地内

北緯  $36^{\circ} 36' 50''$

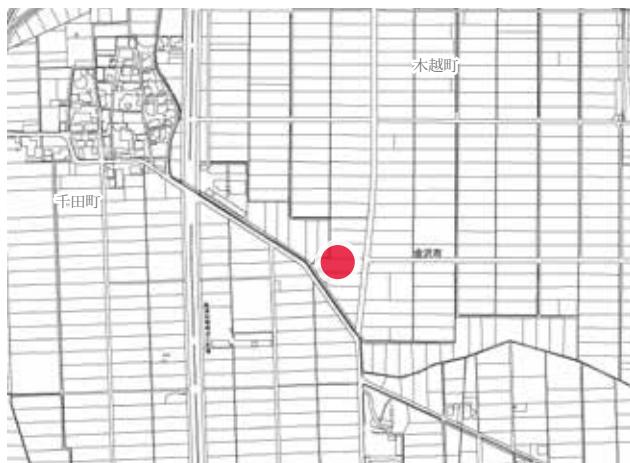
東経  $136^{\circ} 37' 40''$

調査面積: 3,000m<sup>2</sup>

種 別: 社寺跡

主な時代: 奈良・平安、鎌倉、室町、安土・桃山、江戸

担 当: 新出 敬子



### ■ 遺跡の概要

金沢市では平成 25 年から都市計画道路（金沢外環状道路）木越福増線築造工事に先立ち木越町地内で木越光徳寺跡の発掘調査を行っている。今回の調査は平成 26 年度の調査区西側に隣接する約 3,000m<sup>2</sup>が対象である。

木越光徳寺は、15 世紀後半、北陸における真宗本願寺派の布教活動が活発化する中で中心的役割を担った。長享 2 年 (1488)、本願寺派の坊主・門徒らが時の守護富樫政親を高尾城で自害させた、世に言う「長享の一揆」は、加賀に一向一揆の国を樹立させることとなるが、その主要構成員の中には木越光徳寺をはじめとした河北郡の坊主・門徒衆が多く含まれていた。

木越光専寺、木越光琳寺を含め、のちに「木越三光」と呼ばれた三寺は、元亀 3 年 (1572) に加賀の一一向一揆勢力と越後の上杉謙信との合戦が開始されると、寺の周囲に堀を整備して河北潟の水を引き込み、要塞と化したといわれる。天正 8 年 (1580) には加賀攻略を狙う織田信長軍との主戦場となり、激しい攻防を繰り広げたが、佐久間盛政、長連龍に攻め入られ、激戦の末同年 3 月に陥落した。現在、木越集落の西を流れる血の川の名称は、討ち死にした兵士の血で赤く染まったことに由来するとされ、往事の凄惨な光景を今に伝えている。

発掘調査では、平成 26 年度調査区で確認されている寺院の区画溝の続きが検出された他、掘立柱建物 4 棟、柵列 1 列、井戸跡 14 基、土坑 35 基、溝跡 32 条、柱穴 115 基等を検出した。遺構は主に調査区の東側（寺院区画溝の内側）と調査区の西側（寺院区画溝の外側）に集中している。地盤は昨年度と同様、粘土・砂・植物遺体の入る層が折り重なる低湿地の様相で湧水が激しい。

寺院区画溝は幅約 6m、深さ約 80cm で、調査区中央付近で東西方向から南北方向へおおむね直角に曲がり血の川と合流する。出土遺物は主に木製品で、漆器が少量混ざるが全体的に出土量は少ない。

寺院区画溝の内側で中世と考えられる掘立柱建物 3 棟、井戸 4 基、幅約 1.3m、深さ約 30cm の方形溝が確認されている。また、南北方向の寺院区画溝の岸際から網代に編んだ壁材の一部が出土した。護岸用に転用されたものであろう。寺院区画溝の外側（調査区の西側）では、掘立柱建物 1 棟、井戸 10 基、古代の長頸壺が出土した土坑等や旧血の川の一部が確認された。旧血の川が調査区南側から西側へと斜めに続くので、遺構は北西～北側にかけて広がると思われる。

検出された 13 基の井戸で井戸枠なしは 2 基、井戸枠ありは縦板のものが 2 基、縦板と曲物を組み合わせたものが 1 基、曲物を 2 段～3 段重ねたものが 5 基（そのうち曲物の 1 段目と 2 段目の境界に桶の蓋・底板や板等を挟んで、大きさの違う曲物を重ねる工夫をしてある井戸が 3 基）である。

今回の成果として、寺院区画溝の内側と外側における一部の様相と、寺院区画溝の規模と形状の一

部が明らかになった。寺院区画溝は検出された東西部分だけでも約1町(約109m)を測り、さらに両端が南北へとそれぞれ伸びている。『一向一揆と富樫氏』には「爰に大湖の邊りに、木越光徳寺といへる大坊有り。湖水を館の四方へ堰き入れ、中々敵を寄せ付けず。」とある。四方とあるので、南北へ伸びた溝はさらに東西に曲がって伸び、寺院を囲っていたと考えられる。寺院の東西方向の区画溝は1町以上の非常に大規模なものであったことが推測できる。次年度に行われる発掘調査で、溝の規模や溝の内側の寺院関連の遺構がより明らかになることを期待したい。

〈参考文献〉

石川県埋蔵文化財センター 1998 『木越光琳寺遺跡』

石川県図書館協会 1971 『一向一揆と富樫氏』



寺院区画溝（北から）



寺院区画溝 漆器出土状況



寺院区画溝 護岸網代出土状況（東から）



掘立柱建物（南から）



井戸5（南から）



方形溝（東から）

### 3. 千田北遺跡

(遺跡番号 県:159500 市:595)

所在 地：金沢市千田町地内

北緯  $36^{\circ} 36' 51''$

東経  $136^{\circ} 39' 27''$

調査面積：3,500m<sup>2</sup>

種 別：集落跡

主な時代：弥生、古墳、平安、鎌倉、室町

担 当：庄田 知充



#### ■ 遺跡の概要

本遺跡は弥生時代終末、古墳時代前期、平安時代、鎌倉～室町時代の集落遺跡で、都市計画道路（金沢外環状道路）木越福増線築造工事に伴う平成26年度の試掘調査で発見された。今年度の調査区は千田北遺跡の分布域中、調査対象地の最西端にあたる。

本調査区は、現在約200m西側に流下する金腐川の氾濫原に立地していると考えられ、調査区内には、古墳時代前期の遺構が検出される海拔約0.3～0.5m前後の遺構面から現在までに約0.9～1.1mの土砂が堆積・盛土されている。そのうち中世期の遺構検出面は海拔0.7m前後となっており、弥生時代終末期、古墳時代前期から平安時代の間にそれぞれ約15～20cmの厚さで洪水堆積層と推定される粘土または粘砂が堆積している。

調査区の東西中程において、古墳時代前～中期に埋没した南西～北東方向、幅約20mの川跡が確認された。この川跡は、弥生時代終末期の河川堆積層の上に形成されることから、弥生時代以前は調査区のほぼ全域が川跡であったものが弥生時代終末期の堆積により幅が縮小したものと考えられる。川跡の埋没により川の東西両岸に形成された平地部の上には古墳時代前期の土坑等の遺構が掘られている。古墳時代の遺構としては、楕円形・長楕円形の土坑が多数見つかったが、建物遺構は見つかっていなかった。河川両岸の低湿地という立地から考えても、居住域とは考えにくく、これらの土坑は墓坑の可能性がある。古墳時代前期の遺構面は厚さ約15～20cmの精良な粘土層により覆われていることから、平地となった後も氾濫原として洪水堆積層が形成されたものと考えられる。平安時代、鎌倉～室町時代の遺構はこの洪水堆積層上に形成されており、平安時代のものとしては南東～北西方向の溝、鎌倉～室町時代のものとしては曲物の井枡を伴う井戸3基と東西方向に流れる溝を確認している。

弥生時代終末期に埋没した河川堆積土中からは、擬凹線有段口縁甕や高壺、器台、壺等とともに管玉や銅鏡が見つかっている。古墳時代前期の川跡および土坑からは、布留系の甕、壺や高壺・小型器台、小型土器が見つかっている。平安時代の溝からは、土師器や内面黒色土器の椀、鎌倉～室町時代の井戸・溝からは、土師器皿、珠洲焼の甕・すり鉢、漆器、箸、折敷等が見つかっている。

古墳時代の遺構の分布は調査区中央部の川跡を除く全域にわたるが、平安時代以降の遺構は調査区の東側から多数検出されていることから、来年度以降順次調査予定の東側の調査区域に遺跡の主要部は展開していくものと考えられ、今後の調査成果が期待される。



古墳時代前期の土坑群と中世の柱穴群



土坑（古墳時代前期）



土坑（古墳時代前期）



川跡上層から掘り込まれた土坑（古墳時代前期）



川跡西岸（古墳時代前期）



川跡東岸（古墳時代前期）



川跡 蓋出土状況（弥生時代終末期）



川跡 器台出土状況（弥生時代終末期）



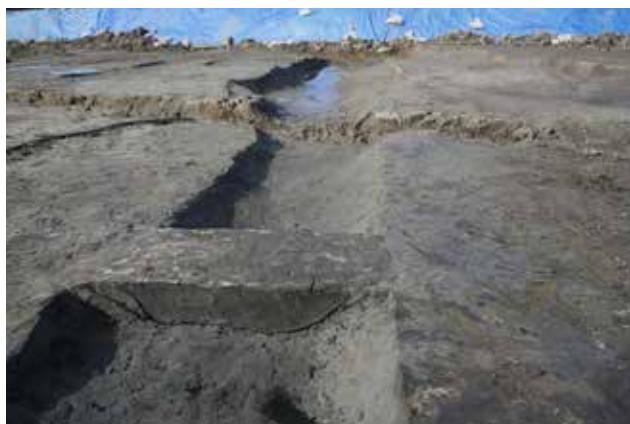
川跡（弥生時代）・土坑（古墳時代）



平安時代の大型土坑



大型土坑 斎串出土状況



平安時代の溝



柱穴 楚板出土状況



中世の溝



井戸群（中世）



井戸（中世）

#### 4. 金沢城下町遺跡（飛梅町3番地点）

(遺跡番号 県：130416 市：304-16)

所 在 地：金沢市飛梅町地内

北緯  $36^{\circ} 33' 30''$

東経  $136^{\circ} 40' 01''$

調査面積：100m<sup>2</sup>

種 別：城下町

主な時代：江戸

担 当：谷口 明伸



#### ■ 遺跡の概要

本発掘調査は、金沢くらしの博物館改修工事におけるトイレ棟及びエレベーター棟増築部分約100m<sup>2</sup>を対象としている。

金沢くらしの博物館は旧石川県立第二中学校三尖塔校舎の名称で石川県指定文化財（建造物）に指定されており、原型のまま保存されている明治期の旧制中学校木造建築として全国でも数少ない貴重な文化財である。竣工は明治32年(1899)で、昭和23年(1949)から昭和45年(1970)までは紫錦台中学校校舎として使用され、幾多の生徒が卒業してきた。昭和53年(1978)からは民俗文化財展示館(平成19年に現在名に改称)として開館し、今日に至っている。木造瓦葺2階建で平面型はコ時状をなす。今回の発掘調査は、建物裏手の中庭に相当する箇所で実施している。

調査区内の基本層序は現地表から約0.4m下に運動場の整備層が、さらにその下約0.4mに近代以降の整地層が展開し、その直下に淡黄褐色粘質土の地山層が位置する。遺構は地山上で検出されており、直上の整地層には大正期～昭和初期の釉薬瓦が混入することから、三尖塔校舎の竣工時に行われた整地工事が地山直上まで及んでいると考えられる。

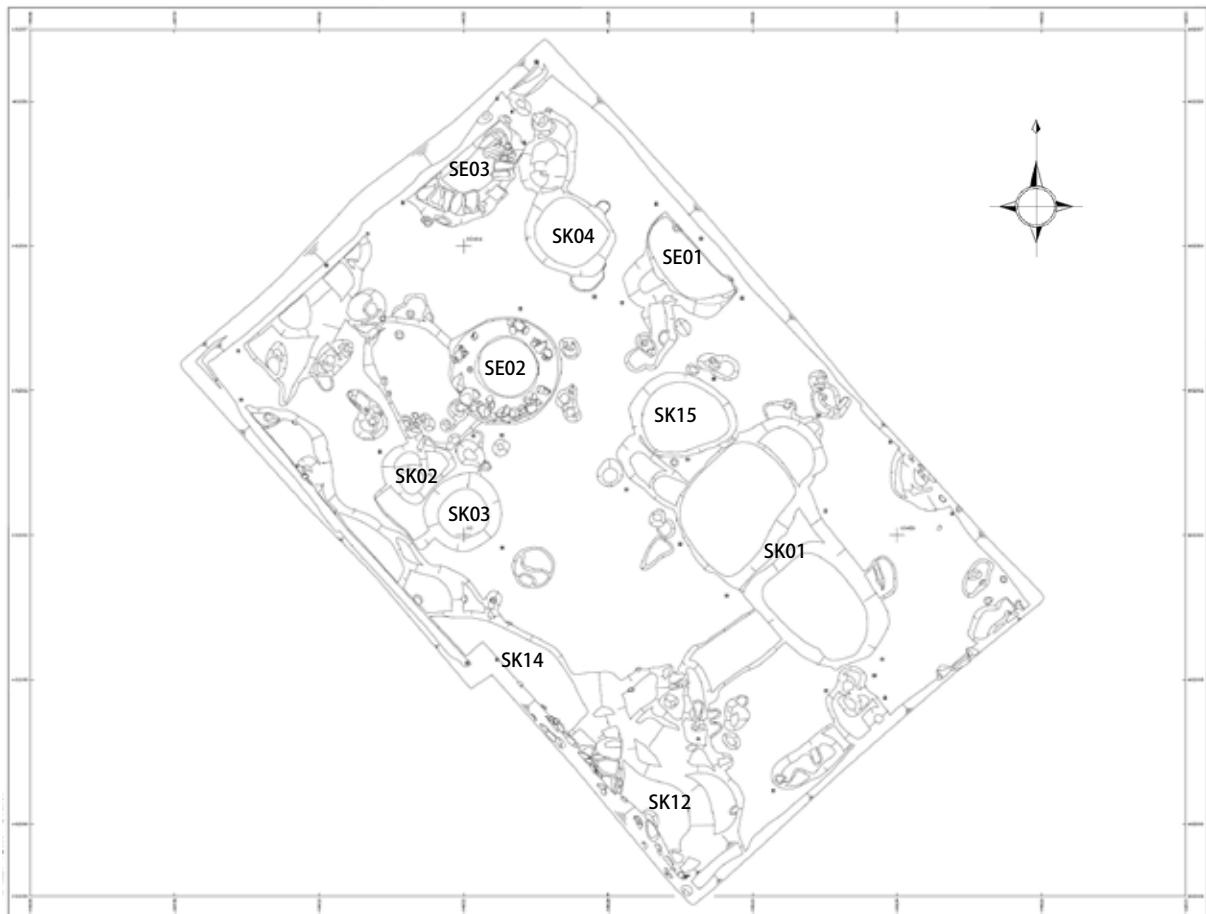
地山上で検出された遺構には井戸跡、大小の土坑、溝跡、ピット等があり、藩政期の遺構が主体となるが、井戸跡など一部に廃絶時期が近代以降に入るものがある。

井戸は計3基検出され、素掘りと石組みの2種類が確認できる。SE01は石組みのない素掘りの井戸跡と思われる。SE02は石組み井戸跡だが石組みが撤去され、裏込石のみ残存する。SE03も石組みの井戸跡であるが、残存する石組みは1段のみである。

土坑は大小計21基を確認している。大～中規模の土坑は粘土採掘のために掘られた可能性が想定される。最も大きいSK01は廃棄時に木製品などが投棄されている。調査区南端のSK12からは石列の一部が確認されているが、その用途は現段階では不明である。

溝跡、ピットは調査区面積が小さいこともあり、検出数は少ない。

調査区は、藩政期においては加賀八家の一家である前田家（長種系）の下屋敷の一角に当たる。加賀八家は加賀藩の年寄役を代々世襲した家臣団最上位の家柄で、本多家、横山家、長家、前田家（直之系）、前田家（長種系）、奥村家（宗家）、奥村家（支家）、村井家の8家があったことからこの呼称がある。調査区に隣接する紫錦台中学校のグラウンド部分で平成25年度に発掘調査が行われており（平成25年度調査年報参照）、今回の発掘調査は加賀藩重臣に仕えた家臣たちの生活状況を検討するうえで、前回の発掘調査で得られた知見を補完する調査成果が期待される。



金沢城下町遺跡（飛梅町3番地点）遺構平面図



調査区全景（南から）



延宝金沢図と現在の都市計画図の重ね合わせ図



SE03 井戸



SK01 土坑

かなざわじょうかまち いせき  
**5. 金沢城下町遺跡**  
まえだし ながたねけい やしきあと  
(前田氏(長種系)屋敷跡地区)

(遺跡番号 県: 130402 市: 304-2)

所 在 地: 金沢市大手町地内

北緯  $36^{\circ} 34' 07''$

東経  $136^{\circ} 36' 38''$

調査面積: 16m<sup>2</sup>

種 別: 城下町

主な時代: 江戸

担 当: 前田 雪恵

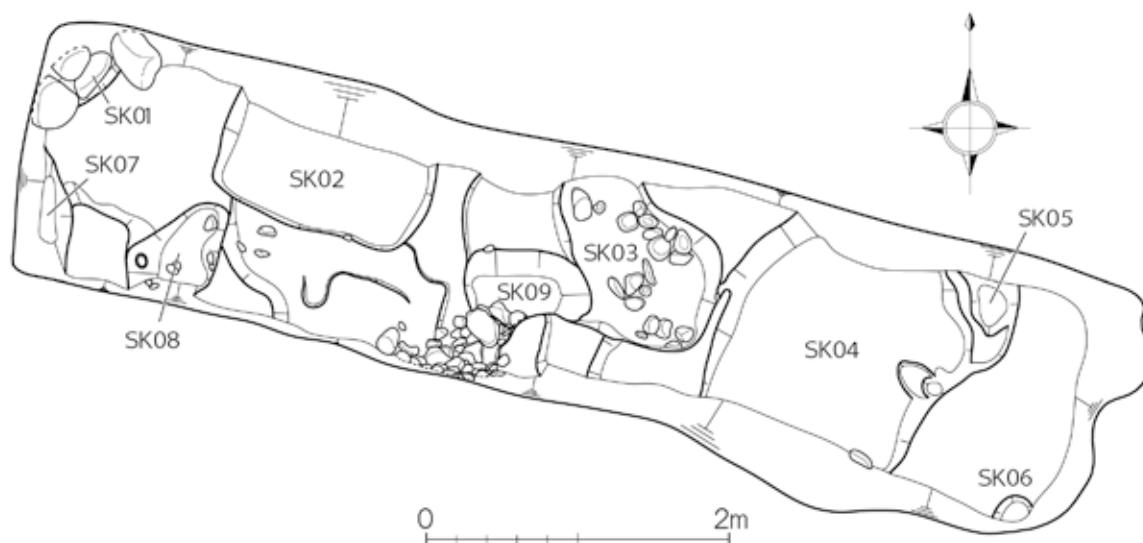


### ■ 遺跡の概要

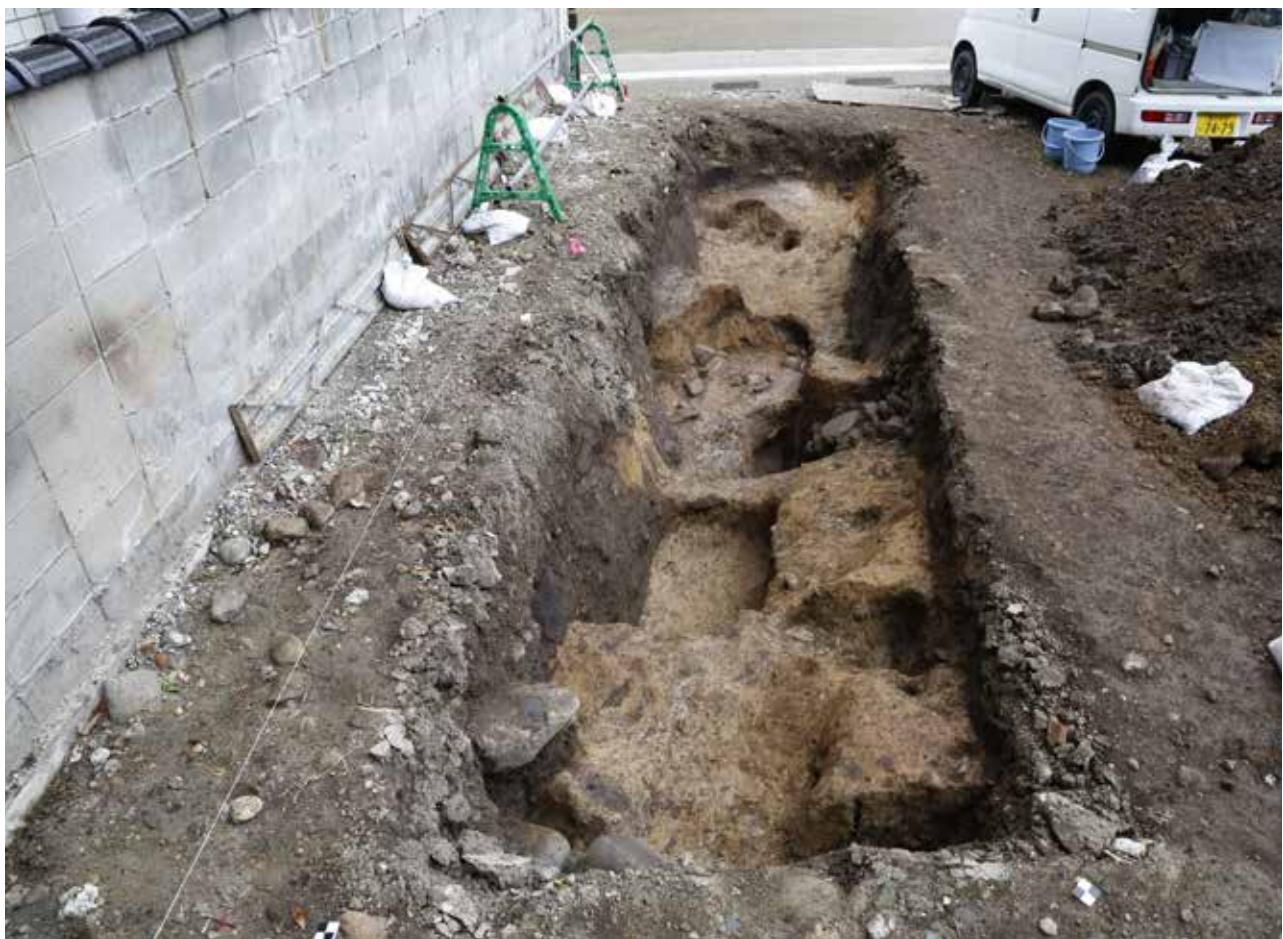
金沢城下町遺跡は平成23年4月に周知された遺跡で、金沢城の外惣構跡の内部全体を範囲としている。その中には、従来より埋蔵文化財包蔵地とされていた遺跡もいくつか含まれており、今回調査対象となった加賀藩重臣の屋敷地「前田氏(長種系)屋敷跡地区」もそのひとつである。

発掘調査では、近代の整地土の下で9基の素掘りの土坑を検出した。土坑の規模や形は不揃いであり、調査区が狭いため全容が判明したものはなかった。最大の土坑(SK04)は、南北1.5m以上、東西1.5m、深さ0.4mを測る。最小の土坑(SK06)は検出長で南北0.2m、東西0.3m、深さ0.2mを測るが、調査区の南東端での検出のため、正確な規模は不明である。井戸、ごみ穴、地下室などと判断できるものはなかった。遺構には切り合いが確認できるため、少なくとも2時期以上に分かれ掘削されたものと考えられる。

ほとんどの土坑から少量ずつ、17世紀後半以降のものと考えられる遺物が出土している。検出された土坑群は前田氏の屋敷に伴うものと考えられるが、藩政期の絵図によると、調査区は屋敷地内でも大通りに面する正門のある一辺にあたり、そのような箇所に設けられた土坑がどのような性格のものであるのか、今後遺物整理を進めながら検討する必要がある。



金沢城下町遺跡(前田氏(長種系)屋敷跡地区) 遺構平面図 [S = 1/50]



金沢城下町遺跡（前田氏（長種系）屋敷跡地区） 完掘状況（西から）



SK01・02・07・08（南東から）



SK09 断面（北から）



SK02・03（南から）



作業風景

## 6. 金沢城跡（金谷出丸）

(遺跡番号 県: 130200 市: 302)

所在 地：金沢市尾山町地内

北緯  $36^{\circ} 33' 57''$

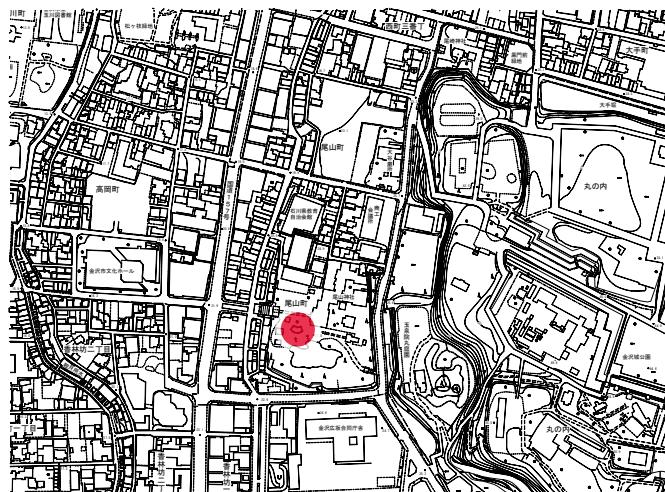
東経  $136^{\circ} 39' 18''$

調査面積：100m<sup>2</sup>

種 別：城館、散布地

主な時代：江戸、弥生、縄文

担 当：庄田 知充



### ■ 遺跡の概要

金沢城跡（金谷出丸）発掘調査事業は、宗教法人尾山神社による授与所（鉄骨平屋建て建物）新築工事に先立ち、埋蔵文化財を記録保存する為に実施された。

調査地は金沢城跡の郭の一つである金谷出丸にあたる。金沢城跡は金沢市街地のほぼ中心部にあり、南東の山地帯より舌状にのびる小立野台地先端部に立地する平山城である。城域は、主郭部分が概ね大手堀・いもり堀・百間堀・白鳥堀等の外堀で囲まれた東西約 500m、南北約 760m の範囲で、堂形や金谷出丸等の外郭部を含めると約 48 万m<sup>2</sup>におよび、そのうち約 27 万 5 千m<sup>2</sup>が、平成 20 年(2008 年) 6 月に国指定史跡になっている。金谷出丸は史跡指定地外の城西部の外郭部分で、藩主が居住した二ノ丸から南西へ一段下がった玉泉院丸とは堀を隔てた位置にあり、鼠多門前の橋で連絡していた。

#### (1) 上層遺構

上層遺構面では調査区中央部を中心に南西から北東に向かって黄褐色の砂層が約 10cm の厚さで残っていた。砂層以下の整地層は、南東角 (SX102 落ち込み) と北西角 (SX202 落ち込み) に向かって傾斜するそれぞれの落ち込みにより比高差約 50cm まで削り取られ、緩やかな起伏地形を形成しており、その落ち込みには瓦が大量に廃棄されていた。SK107 土坑は SX102 落ち込みが埋められた後に新たに掘られた穴で、穴の中からは大量の瓦が出土した。

SD201 は幅約 0.9m、深さ約 1.2m の壁面が垂直な溝状の穴で、長さは 6m までを確認したが、その東端は調査区外に続いている。この溝状土坑の南辺付近には約 65cm 間隔で柱穴と考えられる小穴 (SP201 ~ 205) が並んでおり、これらは塀や柵のような境界施設の地下構造と考えられる。柱穴列の埋め戻しは溝状土坑の埋め戻しよりも後に行われていることから、SD201 に付随する控え柱の抜き取り痕か異なる構造の境界施設が作り直された跡と考えられる。

#### (2) 下層遺構

SX201 は大型の石組み遺構で、西辺を 1 ~ 2 段の石積み (SA201) とし、床面に約 30cm 大の川原石を敷き詰めていた。石積みは一部川原石を用いているものの大部分が戸室石の切石積みで、石面加工には縁取り装飾が伴わないものである。遺構の北側は斜面として立ち上がっており西側と東側は調査区外へと続いている。

上層遺構面から下層遺構面までの間には、約 1m の厚さで整地層や火災で焼けた焼土層等が積み重なっていた。この土層中には寛永大火（1631 年もしくは 1635 年に発生した城下の大火）の焼土と考えられる赤橙色に変色した土層が確認でき、焼土直上の埋め土には、焼損した陶磁器が捨てられていた。SK303 土坑～SK306 土坑は寛永大火層より下層に掘られていた穴で、埋め土に混ざって陶磁

器や灯明皿が捨てられていた。SA301 は川原石を 1 ~ 2 段積んだ石積みで、西端は調査範囲外へと続いている。石積みの下端は一定の高さではなく、凹凸のある面に積まれていたと考えられる。

### (3) 出土遺物

上層では、落ち込み部分を中心に大量の瓦が出土した。材質は無釉のいぶし瓦のものと赤褐色の釉薬が掛けられた赤瓦があり、形はそれぞれ平瓦・軒平瓦・丸瓦・軒丸瓦といった城郭建築でよくみられる本瓦葺きのための瓦が主になっている。軒先を飾っていた軒丸瓦には連珠三ツ巴紋、軒平瓦には唐草と梅鉢紋を組み合わせた文様がみられ、赤瓦の平瓦には「卯辰山」と刻印されたものも見つかった。また、方形の平板な瓦で、建物の壁面に使用されたいぶし瓦の腰壁瓦も見つかっている。

下層では、石組み遺構の SX201 から瓦が大量に出土したが、整地層の下位になると瓦の量が激減した。寛永の大火灾以下では瓦は見つからず、陶磁器の食器類や土師質の灯明皿等、生活に伴う遺物が目立つようになる。

### (4) まとめ

本調査では、尾山神社境内の調査地において、現在の地表面下に遺物を含む約 2 ~ 2.4m の土層が積み重なっており、そのうち江戸時代の土層は約 1.3m の厚さであることが判明した。

本調査では金谷出丸が金沢城に取り込まれていく過程や、出丸として機能していた各時期の土地利用の状況が明らかになった。また、最下層では縄文時代後期～弥生時代終末期の土器を包含する土層を確認した。城の周辺では前田氏（長種系）屋敷跡地点や広坂地点等で、縄文～弥生時代の遺構が見つかっており、本調査において、新たに遺跡の広がりを知ることが出来たことにより、金沢市街地中心部における先史時代の歴史的を知る上で重要な発見となった。



SD201・SP201～205（西から）



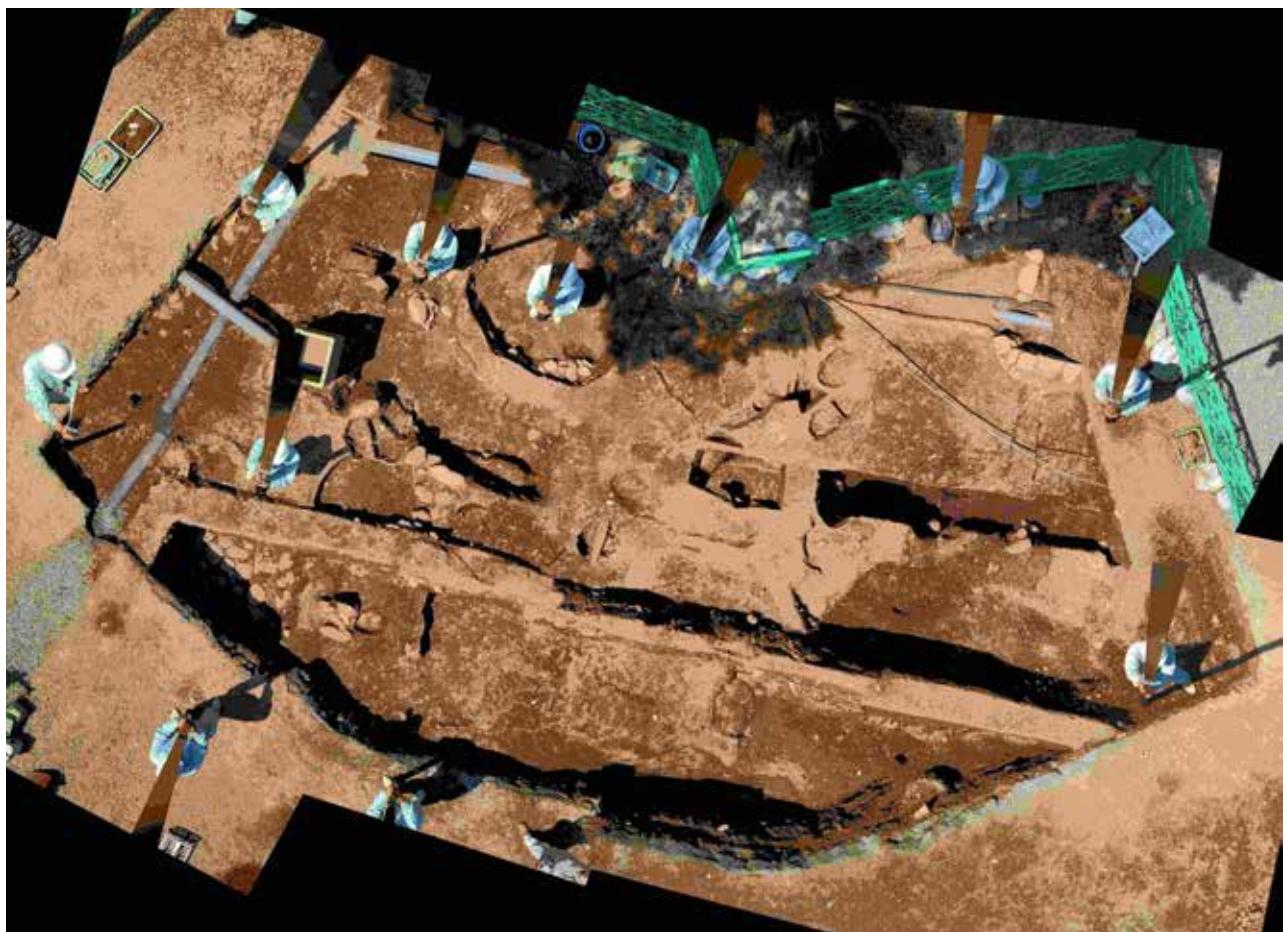
SX201 石組み遺構（南西から）



SK107 瓦廃棄土坑（南から）



SK304 土坑



金沢城跡（金谷出丸）上層遺構モザイク写真



金沢城跡（金谷出丸）下層遺構モザイク写真

## 7. 南森本ホリハタ遺跡

(遺跡番号 県: 159700 市: 597)

所 在 地：金沢市南森本町地内

北緯  $36^{\circ} 37' 08''$

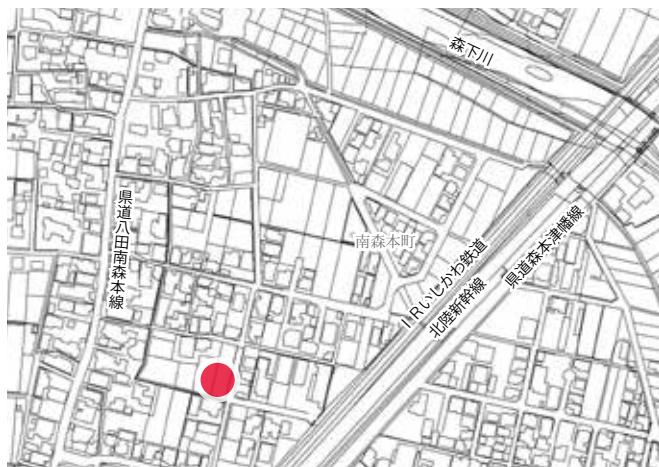
東経  $136^{\circ} 41' 44''$

調査面積：730m<sup>2</sup>

種 別：集落跡

主な時代：弥生、奈良、平安、鎌倉、室町

担 当：景山 和也



### ■ 遺跡の概要

南森本ホリハタ遺跡は、民間の宅地造成工事に先立つ試掘調査で新たに発見された遺跡である。遺跡の北には森下川が北西方向に流れ、河北潟を経て日本海へ至り、また、西側には旧北国街道が南北に伸びているが、東側の砺波丘陵との境付近では古代北陸道がみつかっており、古代以来の水陸交通の要衝に位置している。

発掘調査では、弥生時代終末期の土器が最も古いものとしてみつかり、主な遺構としては、弥生時代終末期の溝、平安時代の掘立柱建物・区画溝、鎌倉時代・室町時代の井戸や大型土坑がある。

弥生時代終末期では、緩やかにカーブする溝2条を検出した。北側のものは幅約4m、深さ約1.3mを測り、断面はV字状を呈する。南側の溝は幅約60cmと狭いが、深さ約80cmを測り、前述の溝と並行する。緩やかに曲がる平面形態から、当該期の遺跡北端を示す環濠との解釈も可能で、その場合、調査区より南側に集落の中心があることが想定される。

平安時代では、掘立柱建物、区画溝、竪穴状遺構が検出されている。掘立柱建物は梁間1間、桁行3間のもので、柱の掘方は1辺約1mの方形をなす。梁間は約5mを測り、2間分の距離となるが、棟持柱の痕跡は検出されなかった。柱穴の断面土層から、柱は直径約30cmで、柱底面に白色粘土層が確認できることから、礎板を有していたと考えられる。大規模な建物だが、床を支えるべきの跡が確認できないことから、高床ではなく、土間状の床をもった側柱建物であった可能性が指摘できる。

弥生時代終末期の北溝と重なる位置に、区画と考えられる溝がある。この溝は調査区の西端でもみつかっており、東西に直線的に伸びるものと考えられる。

このほか、小穴が多数検出されており、複数の掘立柱建物の存在を窺わせるが、明確な建物跡としての把握には至っていない。竪穴状遺構は深さ約20cmを測るもので、平坦な底面をもつ。全容はその大半が調査区外へ伸びているため不明であるが、規模はそれほど大きくないと予想される。

中世では、井戸、大型土坑、竪穴状遺構を検出した。井戸としたものは2基あり、ともに同規模で、平面形は直径約1mの円形を呈し、ほぼ垂直の掘方で深さ約1.6mまで達する。双方ともに土師器小皿1枚と箸状の木製品1対が出土している。うち1基からはこのほかにも石帶と考えられる石製品の破片が出土しているが、時期等については検討を要する。

直径約2.5mを測る大型土坑からは、土師器小皿の小片のほか、大量の焼土塊が出土し、焼け落ちた壁材を片付けたものとも考えられる。このほかにも焼土の入る小穴は多くみられ、ある時期に集落が火災にあっていたことが想定される。根固めの石かと思われる礫が入った穴や、柱穴と覚しき小穴も多く存在するが、平安時代同様、明確な建物跡としての把握には至らなかった。



南森本ホリハタ遺跡 遺構平面図



南森本ホリハタ遺跡遠景（北東から）



SB01（上が北）



SD01（東から）



SD03（東から）



作業風景

A. 砂子坂道場跡  
(伝光徳寺地区・伝善徳寺地区)  
【加賀一向一揆関連遺跡と古道】

(遺跡番号 県: 153100 市: 531)

所 在 地: 金沢市砂子坂町地内

北緯  $36^{\circ} 34' 04''$

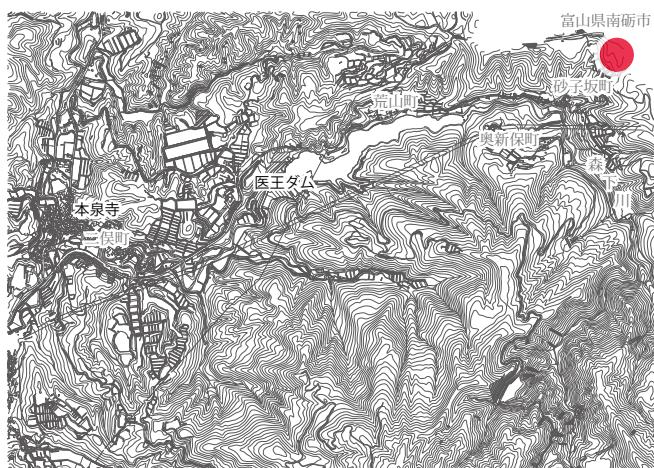
東経  $136^{\circ} 48' 03''$

調査面積: 95m<sup>2</sup>

種 別: 寺院跡

主な時代: 室町

担 当: 向井 裕知



## ■ 遺跡の概要

### (1) 加賀一向一揆関連遺跡と古道の概要

北陸は真宗王国と称されるほど真宗の門徒が多く、その礎は中世に遡るが、加賀・越中を結ぶ二俣越の沿道には、二俣本泉寺などの有力寺院や加賀・越中国境付近の金沢市砂子坂道場跡伝善徳寺地区（のちの城端・善徳寺）、同光徳寺地区（のちの福光・光徳寺）、南砺市土山御坊跡（のちの高岡・勝興寺）など、後の有力寺院の元となる道場跡が今も残っている。また、永正の越前一揆（1506年）の後、越前朝倉氏により北陸道が閉鎖されたため、二俣越は加賀より山科本願寺へ至る重要な陸路となる。

このように、加賀一向一揆に関連した寺院等が二俣越沿いに展開しており、現在もその姿を良く留めていることを特徴とする。

### (2) 平成25・26年度の調査成果

過年度の調査では、標高約280～340mの約200×600mの範囲で、平坦地・池状の窪み・切岸・堀切・横堀・土塁・喰い違い虎口・石組井戸・石敷き・火事片付け土坑が見つかっており、土師器皿・青磁碗・珠洲焼すり鉢と甕・越前焼すり鉢と甕・石鉢・砥石・土壁等の遺物から遺跡の年代は15世紀後半に位置付けられている。これらは一連の堀で区画された範囲に分布することから、一帯を砂子坂道場跡（伝善徳寺地区・伝光徳寺地区）と呼称することとした。

### (3) 発掘調査概要

平成25・26年度の成果を受けて、平成27年度は道場跡の範囲・堀の延長・遺跡の年代幅等を確認することを目的に発掘調査を実施した。

その結果、釜中越などの道跡が延長約800mの堀であったこと（G～J区）、堀の南東端（J区付近）に土橋を用いた虎口状の遺構があること、削り出しの土塁状高まりがあること（M区）が確認された。これらの調査成果により、道場跡の範囲が想定可能となった（I～K区）。

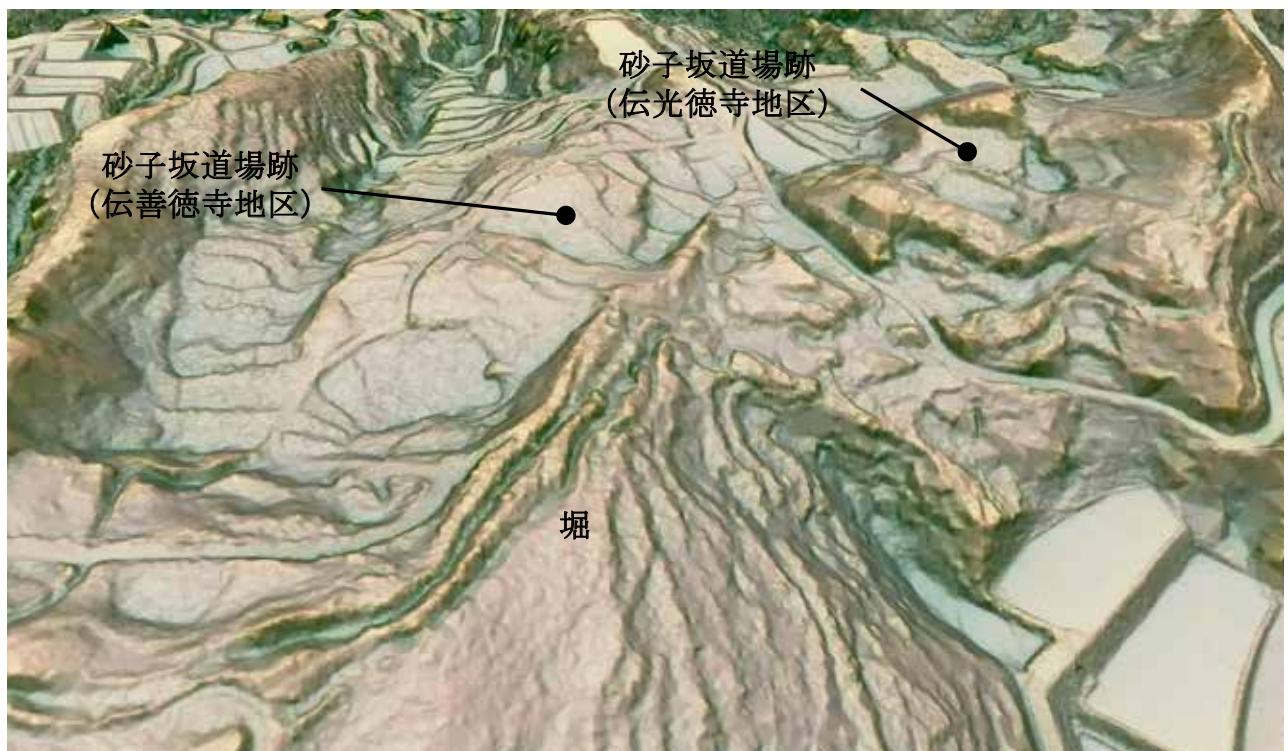
### (4) 砂子坂道場跡の位置づけ

本願寺8世蓮如は文明3年（1471）に越前吉崎（福井県あわら市）に吉崎御坊を構える。その際に越中井波（富山県南砺市）の瑞泉寺（本願寺5世綽如創建）を2度訪れており、その行路として、本泉寺のある二俣や砂子坂を通過する二俣越を利用したと考えられる。その道すがら、周覚（越前興行寺開基、綽如3男）が布教していた砂子坂に訪れ、「この地は仏法有縁の土地柄であるから、道場を建立するように」と諭され、周覚の孫にあたる蓮真に付属されたと、南砺市城端善徳寺の縁起は伝

えている。南砺市光徳寺に伝わる「砂子坂末寺之覚」には、砂子坂（善徳寺？）の末寺が記載されており、加賀に7ヶ所、越中に14ヶ所の道場名が記されている。加賀の道場所在地としては、小原に1ヶ所、森下（森本）に4ヶ所、福久に1ヶ所、松根に1ヶ所の計7ヶ所であり、北陸道や小原越といった越中へ通じる街道沿いに所在していることがわかる。善徳寺の移転については、砂子坂から越中の法林寺、山本、福光へと移転を繰り返すが、いずれも二俣から井波への道筋に位置している。蓮如の息子である実悟が作成した『日野一流系図』によると、文明6年（1474）にはまだ砂子坂におり、文明9年（1477）以降に法林寺に移転したことがわかっている。

これまでの調査によって、15世紀第3四半期頃の遺跡であることが明らかとなっており、蓮如が布教した年代と一致している。また、短期間の存続であること、道場の移転が文明年間に行われたことと合致する。越中側で見つかった延長約800mの堀跡は、越中側からの脅威に備えたものであり、一向宗門徒と敵対した越中福光城主石黒氏に対する防御施設の可能性が考えられる。このことから、砂子坂道場跡は蓮如の布教によって帰依した土豪の屋敷や道場跡の可能性が高く、砺波郡一向一揆によって石黒氏が滅亡した後に、砺波方面へ移転を繰り返し、有力寺院へ発展していったものと考えられる。

これらのことから、砂子坂道場跡は、考古学的な成果が城端善徳寺に伝わる歴史的動向と一致しており、まさに加賀一向宗門徒に関する遺跡といえよう。



砂子坂道場跡 立体鳥瞰図



砂子坂道場跡調査成果立体図

#### 加賀・越中一向一揆関係表

年代	西暦	事柄	内 容
文明 3 年	1471	吉崎御坊建立	蓮如が北陸への布教を強化する。
文明 6 年	1474	加賀一向一揆	文明の一揆。加賀守護の富樫幸千代が、本願寺門徒を味方につけた兄の政親に敗れる。
文明 7 年	1475	本願寺門徒の弾圧	加賀守護に復帰した政親の弾圧によって、本願寺門徒は越中の井波瑞泉寺に逃れる。
文明 13 年	1481	越中一向一揆	政親からの申し入れにより、石黒光義が井波瑞泉寺を中心とする真宗門徒を攻撃するも敗れる。
長享 2 年	1488	加賀一向一揆	長享の一揆。本願寺門徒を味方につけた富樫泰高や土豪層によって、政親が滅ぼされる。



G調査区 堀・土墨



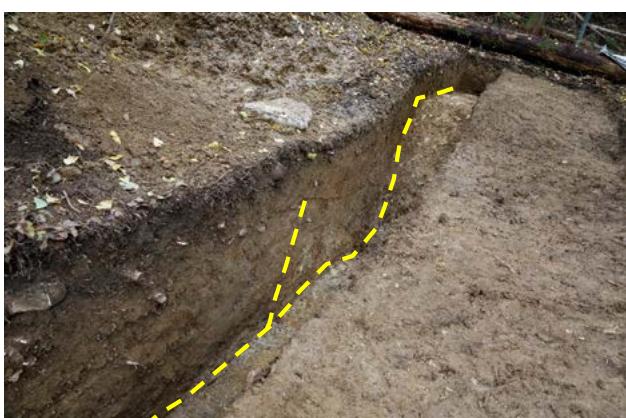
I調査区 堀・釜中越



G調査区 堀・土墨



J調査区 堀・釜中越



H調査区 堀・釜中越



K調査区 道か



H調査区 堀・釜中越



M調査区 土墨

## B. 金沢城下町遺跡（本多氏屋敷跡地区）

（遺跡番号 県：130405 市：304-5）

所 在 地：金沢市本多町三丁目地内

北緯  $36^{\circ} 33' 34''$

東経  $136^{\circ} 39' 39''$

調査面積：24m<sup>2</sup>

種 別：城下町

主な時代：江戸

担 当：庄田 知充



### ■ 遺跡の概要

加賀藩では、元禄3年（1690）以後、藩の重役である年寄衆を八つの家柄が代々世襲し、藩の執政を担当した。本多家は八家のなかでも最高の5万石を知行した。当主が居住した上屋敷は、小立野台地の南西辺にあり、上屋敷に隣接する台地下には、当主の別邸といわれる中屋敷、親族及び陪臣の居住地である下屋敷地が広がっていた。

上屋敷跡（石川県立美術館付近）の裏手西辺、小立野台地崖上端部を縁取って築造されている塀跡および2箇所の門跡、門跡から中・下屋敷跡（市立中村記念美術館付近）方向へと下る坂道、および塀跡と坂道に付属する3カ所は、市史跡「本多家上屋敷西面門跡及び塀跡 附道跡」に指定されている。

平成28年度の発掘調査は、美術の小径の北側にある上屋敷跡の門跡から台地下の中・下屋敷跡へと下る道跡の遺構面と道跡に沿う法面に築かれている石垣の構造を確認する目的で実施した。門跡から中・下屋敷跡へは道跡1・2によって下る。道跡1上部は、幅1.5mの坂道で、道の法面は高さ約3mの石垣1（上段）と、高さ約1.6mの「く」の字に屈曲した石垣2（下段）で保護されている。道跡1下部は、幅約2～4mの緩やかな坂道で、中屋敷北西角へと下る。道跡2は幅約2mの坂道で、道跡1から分岐して「裏坂」（現在の美術の小径付近）に合流していたと考えられる。

#### （1）切石の石段

道跡1の上部においては戸室石を角棒形に加工した石段が見つかり、その前後では路面と考えられる階段状の硬化面を確認した。調査地で原位置を保っていた石段は、平成21年度調査分と併せて2段分だったが、調査地内や周辺の地表には、戸室石や凝灰岩でできた角棒形の石材が散らばっており、もともと坂道に据えられていた石段が流出したものと考えられる。道跡1の切石石段は表土直下で見つかったため、幕末以降も地上に露出していたものと思われる。

#### （2）川原石の石段

道跡2において川原石を1～3個ずつ敷き並べた6段分の石段を発見した。石を抜き取った跡とみられる階段状の段差も見つかったため、もともとは7段の石段があったと考えられる。

道跡2を覆う土から出土した陶磁器等の遺物により、18世紀末までには道跡2の川原石の石段が埋没していたと考えられる。

#### （3）石垣の裏込め

道跡1上部の山側の法面には石垣1（上段石垣）が築かれている。この石垣1の裏込め部分を発掘調査したところ、石垣上端から約60cmまでは、粘砂質の土砂、それ以下は裏込め石によって埋められていることが判明した。



門跡と道跡 1 上部の切石石段（南から）



道跡 1 と上・石垣 2（西から）



道跡 1 と石垣 2（西から）



道跡 2 の川原石石段



石垣 1 の裏込め部（北から）



金沢城下町遺跡（本多氏屋敷跡地区）遺構配置図

## 2. 埋蔵文化財分布調査事業

### (1) 平成 27 年度埋蔵文化財分布調査事業の概要

金沢市では、公共事業に関する土木工事や建設工事等および民間の開発行為や農地転用の際に、金沢市遺跡地図に基づき図面調査及び現地での踏査・試掘調査を実施し、開発事業着手前に埋蔵文化財の有無を確認している。

平成 27 年度は金沢市施工の公共事業 7 件、民間の開発事業・農地転用等 145 件について、埋蔵文化財の有無を調査した。以下はその一覧である。

なお、平成 23 年度より、開発事業に伴う試掘確認調査については国庫及び県費補助事業にて実施しており、平成 27 年度は個人住宅建設に係る発掘調査 1 件（金沢城下町遺跡（前田氏（長種系）屋敷跡））を含めて、事業費は 5,317 千円であった。

また、周知の埋蔵文化財包蔵地内における工事に伴うもので、文化財保護法第 93 条に基づく慎重工事及び工事立会での対応となったものは 40 件で、別表のとおりであった。

#### 公共事業に係る埋蔵文化財調査一覧

ID	場 所	事 業 名	担当課	回答日	面 積	調査方法	結果	対 応
1	粟崎町 4 丁目地内	消防署建設	消防総務課	6 月 29 日	4,000m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし
2	弥生 1 丁目地内	学校建設	教育総務課	7 月 2 日	11,594m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし
3	みどり 1 丁目地内	公園便所設置工事	營繕課	9 月 28 日	10.08m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし (上安原縁団地遺跡)
4	柿木畠 2 丁目地内	庁舎・駐車場建替	総務課	10 月 19 日	7,300m <sup>2</sup>	試掘	有	H28・29 発掘調査予定 (柿木畠遺跡)
5	広岡 1 丁目地内	宿泊施設建設	企画調整課	2 月 3 日	7,423.74m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし
6	寺町 5 丁目地内	資料館建設	企画調整課	3 月 23 日	2,207.89m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし、一部未実施
7	森山 2 丁目地内	学校建設	教育総務課	3 月 28 日	12,042m <sup>2</sup>	試掘	有	H29 発掘調査予定
8	本多町 3 丁目地内	公園整備	企画調整課	3 月 31 日	3,115.25m <sup>2</sup>	試掘	有	慎重工事 (金沢城下町遺跡)

#### 民間の開発行為に係る埋蔵文化財調査一覧

ID	場 所	行為の内容	回答日	面 積	調査方法	結果	対 応
1	大友土地区画整理 25 街区	宅地造成	4 月 6 日	2,004.67m <sup>2</sup>	試掘	有	要協議 (大友 G 遺跡)
2	尾張町 1 丁目 5-1	住宅改築	4 月 8 日	303.53m <sup>2</sup>	試掘	有	慎重工事 (金沢城下町遺跡)
3	金石東 1 丁目 4-13	宅地造成	4 月 13 日	1,598.76m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし (金石本町遺跡)
4	東力 1 丁目 147, 152, 153, 154	店舗建設	4 月 13 日	1,255m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし
5	近岡町 938-13	住宅建設	4 月 14 日	151.47m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし (近岡遺跡)
6	彦三町 2 丁目 363	住宅建設	4 月 16 日	52.92m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし (金沢城下町遺跡)

ID	場所	行為の内容	回答日	面積	調査方法	結果	対応
7	弥生1丁目662-1, 668, 669, 670	有料老人ホーム建設	4月20日	1,125.9m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし
8	専光寺町ニ186ほか	工場建設	4月22日	5,344.53m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし
9	駅西本町5丁目1110-2	住宅建設	4月30日	268.77m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし (二口六丁A遺跡)
10	小将町7-10	集会場建設	5月1日	231.84m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし (金沢城下町遺跡)
11	直江土地区画整理事業地内64～67街区	区画整理	5月7日	6,187.08m <sup>2</sup>	試掘	有	要協議 (直江西遺跡・直江ニシヤ遺跡)
12	大手町32	売買	5月8日	606.11m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし (金沢城下町遺跡)
13	彦三町1丁目58	住宅建設	5月11日	131.22m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし (金沢城下町遺跡)
14	黒田2丁目220, 215	売買	5月12日	630.99m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし (黒田町遺跡)
15	大浦町口3-1, 3-4	駐車場建設	5月13日	1,082m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし
16	高畠2丁目188-1	住宅建設	5月15日	674.52m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし (高畠遺跡)
17	新保本2丁目512-2	住宅建設	5月18日	200.03m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし (新保本町ツカダ遺跡)
18	駅西本町3丁目708, 709	倉庫建設	5月18日	1,111m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし (金沢城下町遺跡)
19	駅西本町3丁目1428	建物建設	5月18日	606m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし
20	割出町640-1ほか	店舗建設	5月19日	2,846.84m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし
21	無量寺町ホ113	駐車場建設	5月20日	542m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし (無量寺遺跡)
22	無量寺町ホ114	駐車場建設	5月20日	692m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし (無量寺遺跡)
23	大河端町東83, ホ15	駐車場造成	5月25日	1,585.33m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし
24	古府町南442ほか	住宅建設	5月28日	293.28m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし (古府遺跡)
25	赤土町リ13-2ほか	ライスセンター等の農業用施設建設	5月28日	7,437m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし
26	増泉5丁目60-1	資材置場造成	6月2日	648m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし (増泉穴田遺跡)
27	山王町2丁目275	住宅建設	6月3日	207.55m <sup>2</sup>	踏査	無	支障なし (三ノ坂遺構群A地点)
28	米泉2丁目57-3, 57-2	売土地	6月4日	265m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし (米泉遺跡)
29	泉が丘2丁目205-1ほか	住宅建設	6月4日	1,652.12m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし
30	みどり1丁目91-1, 91-3	住宅建設	6月5日	218.74m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし (上安原緑団地遺跡)
31	兼六元町134	住宅建設	6月8日	101.19m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし (金沢城下町遺跡)
32	松寺町辰66	事務所建築	6月11日	11,253.34m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし
33	吉原町ヨ51	住宅建設	6月15日	215m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし (吉原法華堂古墳群)
34	円光寺本町278-1	住宅建設	6月16日	143.27m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし (寺地B遺跡)

ID	場所	行為の内容	回答日	面積	調査方法	結果	対応
35	浅野本町2丁目167-2	老人福祉施設・高齢者住宅建設	6月17日	1,024.81m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし
36	彦三町1丁目489	住宅建設	6月22日	81.11m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし (金沢城下町遺跡)
37	京町729-1ほか	店舗建設	6月22日	1,471.36m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし
38	直江土地区画整理事業地内54街区ほか	区画整理	6月24日	17,565.19m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし (直江北遺跡)
39	有松2丁目657, 664-1	店舗建設	7月1日	275.45m <sup>2</sup>	試掘	有	工事立会 (有松D遺跡)
40	神谷内町二63-2, 64-1	店舗建設	7月1日	1,139m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし
41	間明町1丁目193, 194, 254, 255	店舗建設	7月3日	1,549.25m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし
42	梅田町口13-1	売買	7月6日	197m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし (梅田B城跡)
43	寺中町へ23	宅地分譲	7月6日	663.23m <sup>2</sup>	試掘	有	工事立会 (寺中遺跡)
44	横山町541	住宅建設	7月7日	83.48m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし (横山氏屋敷跡)
45	八日市出町840ほか17筆	店舗建設	7月8日	6,831.73m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし
46	福増町北860の一部, 861, 862-2	倉庫新築工事	7月15日	1,320.04m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし (安原工業団地遺跡)
47	藤江北1丁目93-2	住宅建設	7月23日	340.18m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし (藤江B遺跡)
48	押野2丁目162	住宅建設	7月30日	156m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし (押野西遺跡)
49	西泉4丁目85	葬儀場の車寄せ増築及び意匠の変更	8月5日	1,633.65m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし
50	元菊町111-1	駐車場設置	8月6日	498.85m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし (元菊町遺跡)
51	高畠2丁目120-1	住宅建設	8月6日	108.97m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし (高畠遺跡)
52	下松原町38-1, 39	住宅建設	8月10日	300.16m <sup>2</sup>	試掘	有	要協議 (金沢城下町遺跡)
53	高尾町ル37	住宅建設	8月19日	244m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし (高尾遺跡)
54	横枕町イ49-1	売却	8月20日	270m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし (法光寺遺跡)
55	泉野町5丁目155	住宅建設	8月24日	263.87m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし (泉野遺跡)
56	彦三町1丁目532, 533	住宅建設	8月24日	97.57m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし (金沢城下町遺跡)
57	西泉1丁目44, 45	共同住宅建設	8月28日	1,221m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし
58	伏見台3丁目132, 153	住宅建設	9月1日	598m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし (円光寺向田遺跡)
59	伏見台3丁目197-1	住宅建設	9月1日	155m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし (円光寺向田遺跡)
60	北袋町イ115, 117, 119	駐車場造成	9月1日	1,836m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし
61	保古3丁目36～39	店舗建設	9月2日	1,190.95m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし
62	金石東1丁目170-3	店舗建設	9月2日	367.12m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし (金石本町遺跡)

ID	場所	行為の内容	回答日	面積	調査方法	結果	対応
63	寺地1丁目311	住宅建設	9月4日	165.46m <sup>2</sup>	試掘	有	工事立会 (有松A遺跡)
64	小将町70-2	住宅建設	9月3日	97.21m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし (奥村氏(支家)屋敷跡)
65	吉原町ヨ48	店舗建設	9月7日	176.76m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし (吉原法華堂古墳群)
66	南森本町ル159, 160-1, 161, 162-1, 163-1	分譲住宅建設	9月7日	2,781.92m <sup>2</sup>	試掘	有	H27発掘調査 (南森本ホリハタ遺跡)
67	彦三町1丁目715, 716	住宅建設	9月8日	79.17m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし (金沢城下町遺跡)
68	割出町239ほか8筆	分譲宅地の造成	9月8日	2,675.93m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし
69	無量寺1丁目101-2	住宅建設	9月9日	103.34m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし (畠田C遺跡)
70	高畠3丁目69, 70, 84	共同住宅建設	9月14日	1,827m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし
71	彦三町1丁目8-1	住宅建設	9月14日	604.38m <sup>2</sup>	試掘	有	要協議 (金沢城下町遺跡)
72	粟崎町ほ6～, 7, 8, 9, 11-1, 12-1, 13-1, 14-1, 17-1, 73	店舗建設	9月16日	1,395.09m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし
73	下松原町31	ホテル・マンション 建設	9月17日	500m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし (金沢城下町遺跡)
74	長田町407, 408	住宅建設	9月18日	110.37m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし (醒ヶ井遺跡)
75	石引4丁目3-1	保育園教会建設	9月19日	1,341.97m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし (金沢城下町遺跡)
76	薬師堂町口142, 143	住宅建設、店舗建設	9月30日	201.05m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし (薬師堂遺跡)
77	高畠2丁目70	住宅建設	10月6日	301m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし (高畠遺跡)
78	問屋町1丁目48-1, 48-2, 49-2	児童福祉施設等建設	10月6日	1,204.75m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし
79	木曳野1丁目76	共同住宅建設	10月13日	329m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし (寺中B遺跡)
80	三口新町3丁目723	住宅建設	10月13日	210.7m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし (三口新町遺跡)
81	近岡町101-1	店舗建設	10月15日	568m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし
82	石引4丁目369	住宅建設	10月16日	352.5m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし (金沢城下町遺跡)
83	大野町4丁目リ73-2, 73-3	宅地造成	10月19日	2,091.36m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし
84	寺中町ヘ26	売買	10月20日	670m <sup>2</sup>	試掘	有	要協議 (寺中遺跡・寺中B遺跡)
85	藤江南1丁目110, 110-1, 110-2, 111-3	事務所建設	10月20日	1,220.51m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし (藤江A遺跡)
86	大手町45-1, 45-2	住宅建設	10月29日	75.61m <sup>2</sup>	試掘	有	要協議 (金沢城下町遺跡)
87	米泉町2丁目37-1	住宅建設	10月30日	125.1m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし (米泉遺跡)
88	新保本1丁目329	宅地造成	10月30日	173.92m <sup>2</sup>	試掘	有	要協議 (新保本町東遺跡)
89	小将町211	住宅建設	11月2日	87.76m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし (金沢城下町遺跡)
90	寺地2丁目180～186	店舗建設	11月6日	1,888.03m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし

ID	場所	行為の内容	回答日	面積	調査方法	結果	対応
91	小金町 172, 173, 174, 175, 176, 177, 178, 水路	店舗建設	11月11日	2,364.82m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし
92	古府町南 573	住宅建設	11月11日	110.37m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし (古府遺跡)
93	直江町ホ 79	長屋建設	11月16日	493m <sup>2</sup>	試掘	有	工事立会 (直江ニシヤ遺跡)
94	下安原町西 243 ほか 27 筆	土地売却	11月26日	19,303m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし (下安原遺跡)
95	黒田 2 丁目 312	住宅建設	11月27日	183.04m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし (黒田町遺跡)
96	西金沢 5 丁目 280-3	住宅建設	11月27日	131.52m <sup>2</sup>	試掘	有	慎重工事 (保古町遺跡)
97	四十万 3 丁目 383-1	分譲住宅建設	11月27日	127.05m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし (三十刈遺跡)
98	駅西新町 3 丁目 1906	駐車場設置	12月1日	610m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし (南新保 D 遺跡)
99	末町四字 43, 44, 46, 47	学生専用寮建設	12月1日	2,050.m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし
100	東蚊爪町ム 4, 5-1	店舗建設	12月2日	1,987m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし
101	丸の内 27, 29	住宅建設	12月15日	264.16m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし (金沢城下町遺跡)
102	藤江南 1 丁目 98-1, 98-3, 98-4	住宅建設	12月17日	396.09m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし (藤江 A 遺跡)
103	平栗ヨ 25 ほか 8 筆	果樹園移設	12月17日	1,300m <sup>2</sup>	踏査	無	支障なし
104	西金沢 5 丁目 300-1	壳買	12月18日	182m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし (保古町遺跡)
105	高尾台 2 丁目 321, 322, 331	住宅建設	12月21日	1,016m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし (高尾公園遺跡)
106	彦三町 1 丁目 222-1	住宅建設	12月24日	586.97m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし (金沢城下町遺跡)
107	尾張町 2 丁目 328	住宅建設	12月25日	67.92m <sup>2</sup>	試掘	有	要協議 (金沢城下町遺跡)
108	加賀朝日町壱字 41 ほか 21 筆	山土採取	12月25日	33,277m <sup>2</sup>	踏査	無	支障なし
109	三馬 1 丁目 207 ほか 5 筆	児童福祉施設等の建設	1月5日	1,288m <sup>2</sup>	試掘	有	工事立会 (三馬遺跡)
110	割出町 292-1	共同住宅建設	1月7日	1,012m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし
111	北町乙 37	共同住宅建設	1月7日	786m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし (北町遺跡)
112	小坂町北 123-1, 124-1	共同住宅建設	1月13日	1,754m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし
113	諸江町中丁 211-1, 212-1, 213-1, 213-3	事務所建設	1月18日	2,125.74m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし
114	彦三町 2 丁目 21	事務所建設	1月19日	85.95m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし
115	西念 4 丁目 11-13	給油所解体	1月21日	996.08m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし (西念ネジタ遺跡)
116	兼六元町 232	住宅建設	1月27日	228.72m <sup>2</sup>	試掘	有	工事立会 (金沢城下町遺跡)
117	大豆田本町甲 58-1, 74, 89-1, 306, 307, 308, 593, 594	事務所建設	2月1日	3,121.45m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし
118	黒田 1 丁目 176	賃貸事務所建設	2月8日	390.17m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし (黒田町遺跡)

ID	場所	行為の内容	回答日	面積	調査方法	結果	対応
119	南森本町ヌ 54, 55, 56, 57-2	住宅建設	2月8日	2,119.m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし
120	寺中町ホ 55-46	住宅建設	2月9日	207.37m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし (畠田・寺中遺跡)
121	浅野本町 2 丁目 299, 300, 301, 302, 304, 305, 306	分譲宅地の造成	2月15日	2,290m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし
122	彦三町 1 丁目 590	住宅建設	2月16日	100m <sup>2</sup>	試掘	有	要協議 (金沢城下町遺跡)
123	笠舞本町 2 丁目 488, 758	住宅建設(分譲)	2月16日	1,280.79m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし
124	西泉 4 丁目 129-1, 129-2, 129-3, 129-7	店舗建設	2月17日	1,484.72m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし
125	笠舞 2 丁目 6-28 ほか	教会堂建設	2月18日	800.71m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし
126	下松原町 38	住宅建設	2月22日	66m <sup>2</sup>	試掘	有	要協議 (金沢城下町遺跡)
127	畠田西 3 丁目 164	住宅建設	2月22日	224.03m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし (畠田遺跡)
128	八日市 3 丁目 516, 517	住宅建設	2月25日	401.85m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし (八日市 B 遺跡)
129	安江町 463	住宅建設	2月25日	123.1m <sup>2</sup>	試掘	有	要協議 (金沢城下町遺跡)
130	矢木 2 丁目 165-21	住宅建設	2月29日	167.45m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし (矢木マツノキダ遺跡)
131	四十万 3 丁目 336, 337, 369, 370	長屋住宅建設	2月29日	1,248m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし
132	泉野町 5 丁目 168, 169	住宅建設	3月1日	403.05m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし (泉野遺跡)
133	小将町 241-5, 11	事務所 (料金所) 建設	3月3日	105.55m <sup>2</sup>	試掘	有	慎重工事 (金沢城下町遺跡)
134	長田本町ホ 19, 20, 21-1, 21-2	宅地分譲	3月3日	2,096.44m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし
135	丸の内 10, 11	住宅建設	3月4日	268.72m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし (金沢城下町遺跡)
136	額谷町へ 86-1 ほか 19 筆	未定	3月7日	12,130.93m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし
137	高畠 2 丁目 67-2	住宅建設	3月9日	139.35m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし (高畠遺跡)
138	金石西 2 丁目 599 ほか 2 筆	宅地造成	3月9日	1,615.41m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし
139	武藏町 16-11	住宅建設	3月14日	158.8m <sup>2</sup>	試掘	有	工事立会 (金沢城下町遺跡)
140	高畠 2 丁目 71, 72	住宅建設	3月14日	609.m <sup>2</sup>	試掘	有	工事立会 (高畠遺跡)
141	みどり 1 丁目 132	住宅建設	3月15日	263.46m <sup>2</sup>	試掘	有	慎重工事 (上安原緑団地遺跡)
142	黒田 2 丁目 236-3	住宅建設	3月22日	115.35m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし (黒田町遺跡)
143	佐奇森町イ 22-1 ほか 17 筆	太陽光発電所建設	3月29日	4,719.81m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし (佐奇森遺跡)
144	武藏町 599, 601	駐車場建設	3月30日	42.6m <sup>2</sup>	試掘	有	慎重工事 (金沢城下町遺跡)
145	本多町 3 丁目 52-2 ほか	公園整備	3月31日	3,115.25m <sup>2</sup>	試掘	有	工事立会 (金沢城下町遺跡)

(別表) 土木工事のための発掘届・発掘通知一覧

ID	届・通知の別	場所	行為の内容	届出日	取扱通知日	面積	遺跡名	対応
1	93条(届)	尾張町1丁目5-1	駐車場建設	4月15日	4月21日	303.53m <sup>2</sup>	金沢城下町遺跡	慎重工事
2	93条(届)	尾山町11-1	授与所新築	5月12日	5月21日	18,416m <sup>2</sup>	金沢城跡	発掘調査
3	93条(届)	南新保へ32-1	モデルハウス建設	5月13日	5月19日	292.38m <sup>2</sup>	南新保D遺跡	工事立会
4	93条(届)	上安原1丁目188	個人住宅建設	5月18日	5月20日	254.87m <sup>2</sup>	上安原遺跡	慎重工事
5	93条(届)	戸板5丁目151	個人住宅建設	5月29日	6月1日	337.18m <sup>2</sup>	出雲じいさまだ遺跡	工事立会
6	93条(届)	新保本1丁目436-5	個人住宅建設	6月17日	6月17日	117.65m <sup>2</sup>	新保本町南遺跡	工事立会
7	93条(届)	有松2丁目657, 664-1	店舗建設	7月3日	7月14日	66.8m <sup>2</sup>	有松D遺跡	工事立会
8	93条(届)	戸板5丁目35	個人住宅建設	7月9日	7月9日	193.6m <sup>2</sup>	桜田・示野中遺跡	工事立会
9	93条(届)	寺中町へ23	V S側溝工事・水道工事	7月29日	7月31日	663.23m <sup>2</sup>	寺中遺跡	工事立会
10	93条(届)	安江町464	共同住宅建設	8月3日	8月3日	206.28m <sup>2</sup>	金沢城下町遺跡	工事立会
11	93条(届)	直江土地区画整理事業地内67街区4	個人住宅建設	8月5日	8月6日	299m <sup>2</sup>	直江ニシヤ遺跡	工事立会
12	93条(届)	田上の里2丁目202	共同住宅建設	8月21日	8月21日	324.39m <sup>2</sup>	田上北遺跡	工事立会
13	93条(届)	兼六元町250	既存住宅改築	8月26日	8月26日	135.77m <sup>2</sup>	金沢城下町遺跡	工事立会
14	93条(届)	田上の里2丁目158-2	個人住宅建設	8月28日	8月28日	176.3m <sup>2</sup>	田上北遺跡	慎重工事
15	93条(届)	直江土地区画整理事業地内42街区2~4,, 9, 10	モデルハウス建設	8月28日	8月31日	1,255m <sup>2</sup>	直江北遺跡	慎重工事
16	93条(届)	大友土地区画整理事業地内4街区5-1, 5-2, 6-1, 6-2	共同住宅新築	9月11日	9月11日	809.12m <sup>2</sup>	大友D遺跡	工事立会
17	93条(届)	尾山町261-1, 321-1, 322	電気敷設溝・雨水排水側溝	9月17日	9月17日	18,416.m <sup>2</sup>	金沢城跡	工事立会
18	94条(通知)	大友土地区画整理事業地内25街区1-1ほか9筆	宅地造成に係る擁壁設置	9月29日	9月30日	2,004.67m <sup>2</sup>	大友G遺跡	工事立会
19	93条(届)	田上の里2丁目204	共同住宅建設	10月2日	10月5日	287.18m <sup>2</sup>	田上北遺跡	慎重工事
20	93条(届)	田上の里2丁目158-2	個人住宅建設	10月9日	10月9日	176.32m <sup>2</sup>	田上北遺跡	慎重工事
21	93条(届)	戸板5丁目26	個人住宅建設	10月27日	10月27日	193.6m <sup>2</sup>	桜田・示野中遺跡	工事立会
22	93条(届)	彦三町1丁目286	住宅増築	10月27日	10月27日	639.67m <sup>2</sup>	金沢城下町遺跡	慎重工事
23	93条(届)	寺中町へ23	個人住宅建設	11月2日	11月9日	182.72m <sup>2</sup>	寺中遺跡	工事立会
24	93条(届)	小将町211(7-3)	個人住宅建設	11月9日	11月9日	87.76m <sup>2</sup>	金沢城下町遺跡	慎重工事
25	93条(届)	大手町45-1, 45-2	個人住宅建設	11月9日	11月9日	75.61m <sup>2</sup>	金沢城下町遺跡(前田氏長種系屋敷跡)	発掘調査
26	93条(届)	直江町末79, 直江区画整理事業地内67街区3-1, 2	長屋住宅建設	11月25日	11月25日	1,001m <sup>2</sup>	直江ニシヤ遺跡	工事立会
27	93条(届)	西金沢5丁目280-3	個人住宅建設	12月7日	12月7日	132.57m <sup>2</sup>	保古町遺跡	慎重工事

ID	届・通知の別	場所	行為の内容	届出日	取扱通知日	面積	遺跡名	対応
28	93条(届)	大友土地区画整理事業地内 25街区 1-4	モデルハウス建設	12月 15日	12月 15日	194.m <sup>2</sup>	大友 G 遺跡	工事立会
29	93条(届)	寺地 1 丁目 311	個人住宅建設	1月 6 日	1月 6 日	165.46m <sup>2</sup>	有松 A 遺跡	工事立会
30	93条(届)	田上の里 2 丁目 157	個人住宅建設	1月 15 日	1月 15 日	301.08m <sup>2</sup>	田上北遺跡	慎重工事
31	93条(届)	戸板 5 丁目 123 ~ 125	個人住宅建設	1月 19 日	1月 19 日	252.92m <sup>2</sup>	出雲じいさまだ遺跡	工事立会
32	93条(届)	直江土地区画整理事業地内 42街区 4, 9, 10	看板の設置	2月 1 日	2月 1 日	1,255m <sup>2</sup>	直江北遺跡	慎重工事
33	93条(届)	三馬 1 丁目 207 ~ 209, 214 ~ 217	老人ホーム建設	2月 5 日	2月 5 日	1,292.27m <sup>2</sup>	三馬遺跡	工事立会
34	93条(届)	兼六元町 232	個人住宅建設	2月 8 日	2月 8 日	228.72m <sup>2</sup>	金沢城下町遺跡 (惣構跡)	工事立会
35	93条(届)	南森本町ル 159 より分筆	個人住宅建設	2月 24 日	2月 24 日	150.02m <sup>2</sup>	南森本ホリハタ遺跡	工事立会
36	93条(届)	小将町 241-5, 11 (7-3)	料金所新築	3月 10 日	3月 10 日	105.6m <sup>2</sup>	金沢城下町遺跡	慎重工事
37	93条(届)	武藏町 503 (16-11)	個人住宅建設	3月 15 日	3月 15 日	175.52m <sup>2</sup>	金沢城下町遺跡	工事立会
38	93条(届)	畠田東 4 丁目 1123	店舗併用住宅	3月 23 日	3月 23 日	342.13m <sup>2</sup>	畠田 C 遺跡	工事立会
39	93条(届)	南森本町ル 178-3	個人住宅建設	3月 23 日	3月 23 日	135m <sup>2</sup>	南森本遺跡	工事立会
40	93条(届)	神野 2 丁目 20-4	個人住宅建設	3月 23 日	3月 23 日	179.74m <sup>2</sup>	神野遺跡	工事立会

### 3. 教育・普及・啓発活動事業

#### (1) 金沢縄文ワールド

##### 概要

金沢市いなほ1丁目に所在する中屋サワ遺跡は、縄文時代晩期を主体とした多量かつ多様な土器や漆塗製品を含む木製品、石製品などが出土した遺跡である。特に漆塗製品は遺存状態が良好なものが多く、編みカゴを漆で塗り固めた籃胎漆器、漆塗りの装飾弓、腕輪、堅櫛など、多彩な遺物が出土しており、当時の漆工技術の実態がよく示されている。縄文土器には北陸地方の縄文時代晩期の形式をよく示すだけでなく他地域の影響が見られるものも含まれている。これらは北陸地方における縄文時代晩期の文化と生活様式を良く示しているとして、平成26年8月21日に重要文化財に指定された。

チカモリ遺跡は金沢市新保本5丁目に所在し、昭和50年代の発掘調査で環状木柱列と呼ばれる半裁したクリ材を円形に立て並べた建造物が確認されたほか、計349点にも及ぶ柱根が出土している。遺跡は中心部がチカモリ遺跡公園として整備され、昭和62年2月23日に国史跡に指定されたほか、出土した柱根のうち57点が石川県指定文化財に指定されている。

金沢市では、これら縄文時代晩期の貴重な資料を適切に保管するとともに広く一般に展示・公開する施設として、金沢市埋蔵文化財センターを一部改修して整備し、平成27年11月8日に「金沢縄文ワールド」として新規オープンした。館内には常設展示コーナーと企画展示コーナーを設け、様々な視点から金沢市内の縄文時代を紹介する展示を行っているほか、2階には勾玉作りや縄文かご作りなどの様々な古代体験に挑戦できる縄文体験コーナーを併設している。また、重要文化財指定物件を保管する特別収蔵庫も新たに整備し、貴重な考古資料の保存継承を図っている。

開館時間 9時30分から17時00分まで（入館は16時30分まで）

休館日 月曜日、年末年始（12/29～1/3）

※月曜日が祝日の場合は開館し、その次の平日に休館

入館料 無料

入館者数 平成27年度 1,111人（平成27年11月8日～平成28年3月31日）

事業費 平成25年度 工事設計等 3,494千円

平成26年度 工事費、監理委託等 81,967千円

平成27年度 初度備品費等 12,540千円



## 常設展示

金沢縄文ワールドにおいて重要文化財「中屋サワ遺跡出土品」及び国史跡「チカモリ遺跡」出土品を常設展示するにあたり、貴重な考古資料を適切に保存管理しつつ、その魅力を広く公開するという基本理念のもと、以下の展示コンセプトを設定し、展示設計を行った。

1. 中屋サワ遺跡やチカモリ遺跡の出土品の特色及び独自性を演出する展示
2. 若年層から高齢者まで、幅広いニーズに対応できる演出
3. 「触れて、楽しみ、学ぶ」ことができる体験型展示手法の採用
4. 各種分析や実験考古学など最新の研究成果を反映した展示

これにメンテナンス性や環境への配慮を加えた結果、常設展示では「巨木の文化」「漆と装飾」の2大テーマに基づいた展示・解説を企画したほか、タッチパネルを操作して金沢市内の縄文遺跡や発掘調査の流れなどが検索できる「縄文の考古楽」コーナー、ゲームを通して縄文時代の石斧や弓の使い方を体験できる「実験考古学」コーナーを併設した。

### ■巨木の文化

展示室中央にシンボル展示としてチカモリ遺跡の環状木柱列を室内復元し、大型スクリーンの映像とともに往時の環境を再現している。また、中屋サワ遺跡から出土した豊富な木製品を展示し、縄文時代晩期の優れた木工技術を紹介している。

### ■漆と装飾

中屋サワ遺跡から出土した漆塗木製品や縄文土器を展示し、その高い技術と独自のデザイン性を通して、縄文時代晩期の金沢に住んだ人々が持っていたワザと美意識を紹介している。特に漆塗木製品は籃胎漆器や木胎漆器、弓、櫛、腕輪など多岐に渡る第一級の資料を展示しており、当該時期の金沢における優れた漆芸文化の一端を垣間見ることができる。



シンボル展示



常設展示「巨木の文化」



常設展示「漆と装飾」



「縄文の考古楽」コーナー

### 企画展示

企画展示コーナーでは、常設展示とは別に、毎回異なるテーマに基づいた展示を行い、金沢を中心とした北陸地方の遺跡と出土遺物を紹介している。平成 27 年度は以下の企画展を開催。

#### 「加賀能登の縄文土器展」

会期 平成 27 年 11 月 8 日から平成 28 年 3 月 27 日まで

概要 石川県内には早期から晩期の縄文時代の遺跡が分布し、各地から出土する土器の模様や形態は他地域の影響を受けつつ独自に発展していった。これらの中には、独特かつ精緻な模様を表面などに施した土器を見ることができ、縄文時代の人々が有していた美意識を感じ取ることができる。本企画展では、県内各地から出土した縄文時代の典型的な模様を持つ土器を中心に展示し、各期のその地域性と多様性を通して加賀能登の縄文土器の美を紹介。

展示資料 下記の各遺跡から出土した縄文土器を展示。

加賀地方：横北遺跡 乾遺跡 念仏林遺跡 吉野ノミタニ遺跡

金沢市：古府遺跡 米泉遺跡 笠舞遺跡 北塚遺跡 馬替遺跡

能登地方：三引遺跡 赤浦遺跡 德前 C 遺跡 上山田貝塚 気屋遺跡

#### 「金沢の縄文土器」

会期 平成 28 年 3 月 29 日から平成 28 年 7 月 31 日まで

概要 金沢市内には、縄文時代前期から晩期の遺跡が数多く分布し、その出土遺物には地域的な特色を数多く見いだすことができる。本企画展において金沢市内の縄文時代前期から後期の縄文土器を展示し、その独自性と地域性を紹介することで、金沢の縄文土器の魅力と美に触れるとともに金沢の縄文時代の全体像を紹介。

展示資料 下記の各遺跡から出土した縄文土器を展示。

縄文時代前期：上安原遺跡

縄文時代中期：加賀朝日遺跡、古府遺跡、笠舞遺跡、北塚遺跡、東市瀬遺跡

縄文時代後期：米泉遺跡、藤江 C 遺跡、チカモリ遺跡



「加賀能登の縄文土器展」



「金沢の縄文土器」チラシ

### 縄文文化体験コーナー

金沢縄文ワールドの開設に併せ、埋蔵文化財センター 2 階に縄文文化体験コーナーを併設した。

同コーナーでは、様々な縄文体験を無料で実施しており、だれでも気軽に参加できる。体験メニューはいつでも体験できる通年メニューと、毎月内容が変わる期間限定メニューの 2 種類がある。いずれも縄文時代の文化や生業を追体験できる内容となっており、当館の体験型展示コンセプトの一翼を担っている。

#### ・通年メニュー

土器パズル 勾玉作り 古代衣装試着 拓本作り  
ペーパークラフト ぬりえ

#### ・期間限定メニュー

縄文かご・コースター作り 土偶作り 土笛作り くみひも作り  
うでわ作り はたおり

※期間限定メニューの開催時期はホームページ等でご確認いただきたい。

※ペーパークラフトは金沢縄文ワールドのホームページでダウンロードできる。

<http://www4.city.kanazawa.lg.jp/11104/bunkazaimain/maizou/15.html>

## (2) 歴史ふれあい講座

当センターでは平成 12 年度より、職員が市内の小学校へ出向き、郷土の歴史と埋蔵文化財について

小学校 6 年生に講義を行う「歴史ふれあい講座」を行っている。

講座内では貫頭衣の試着、石を使ってのくるみ割り、縄文～古墳時代の遺物見学、最後に火起こしましたは勾玉作りの体験がある。さらに現在の生活と文化財との接点を意識してもらえるよう、各小学校の校区内に所在する文化財や埋蔵文化財包蔵地を記した「文化財マップ」を配布し、校区内の遺跡から発掘された出土品を展示している。この内容で、1 講座 100 分を要する。

平成 22 年度からは、金沢市文化財ボランティア「うめばちの会」の協力のもと、公私共同で事業を行っている。今年度は 4 月 14 日の諸江町小学校から始まり、5 月 29 日の伏見台小学校に終わる 31 校で開催した。うち 21 校が火起こしを、8 校が勾玉作りを、2 校は勾玉作りも火起こしも行わない短時間の土器実見コースを行った。参加児童数は 2,122 名で、平成 12 年度からの累計は 27,455 名となった。

### 《過去 5 年間の事業実績》

実施年度	学校数	講座数	児童数
平成 23 年度	32	71	2,341
平成 24 年度	33	66	2,214
平成 25 年度	32	65	2,229
平成 26 年度	31	67	2,167
<b>平成 27 年度</b>	<b>31</b>	<b>63</b>	<b>2,122</b>



くるみ割り体験



遺物見学



火起こし体験



勾玉作り体験

### (3) 金沢こども歴史探検隊

平成 15 年度より、将来を担う子どもたちの歴史体感の場として、市内の史跡・建造物など、実物の歴史遺産をフィールドとした歴史体感活動「金沢こども歴史探検隊」を実施している。これは、ふるさとの歴史をより理解し、地域と協働して貴重な歴史文化遺産を護ってゆく「金沢型の文化財保存活動」を実現する環境の形成を図ることが目的である。

今年度は、古代体験と国指定史跡チカモリ遺跡の見学を行った。埋蔵文化財センターでは貫頭衣試着・クルミ割り体験・火起こし体験のほか、市内出土の縄文土器等を実際に手に取る見学を行った。その後、チカモリ遺跡公園へ移動し、公園と新保本町埋蔵文化財収蔵庫の見学を行った。子供たちにとって縄文時代のくらしを知り金沢の歴史をより身近に感じられる貴重な体験となった。

実施日：平成 27 年 10 月 17 日（土）

内 容：古代体験と史跡の見学

参加者：小学生および保護者 6 人

#### «過去 5 回の事業実績»

実施年度	回数	タイトル
平成 23 年度	10	「集え !! 未来の考古学者たち !!」
平成 24 年度	11	「めざせ金沢城博士 !!」Vol.3
平成 25 年度	12	「金沢湯涌江戸村探検隊！」
平成 26 年度	13	「加賀藩主前田家墓所探検」Vol.2
<b>平成 27 年度</b>	<b>14</b>	<b>「縄文人のくらしを探れ！」</b>



くるみ割り体験



土器の見学



火起こし体験



国指定史跡チカモリ遺跡公園見学

#### (4) 金沢縄文ワールド開設記念講演会 縄文時代の木の文化

金沢市では、縄文時代晚期の貴重な資料を適切に保管し、広く一般に展示・公開する施設として、金沢市埋蔵文化財センターの一角を「金沢縄文ワールド」として整備、平成27年11月8日に一般公開を開始した。オープン初日には、開設記念式典に続いて開設記念講演会「縄文時代の木の文化」を開催した。

講師の首都大学教授山田昌久氏は、金沢縄文ワールドの展示監修に携わっており、講演では、北陸地方における縄文時代晚期の木材利用技術及び重要文化財「中屋サワ遺跡出土品」の魅力や見所などを紹介した。その後、山田氏解説による金沢縄文ワールドの常設展示・企画展示見学会が行われた。講演会終了後には、「木材の加工方法について知ることができ意義深い内容であった」などの意見を多く聞くことができた。今後も積極的にこのような機会を設け、金沢における縄文文化の発信に努めていきたいと考えている。

実施日 平成27年11月8日（日）

会 場 金沢市埋蔵文化財センター 2階 映像学習室

内 容 講演 「縄文時代の木の文化」 山田昌久氏（首都大学東京教授）

参加者：64人



開設記念式典



オープニングセレモニー



講演 山田昌久氏



金沢縄文ワールド展示見学会

## (5) 国史跡指定記念シンポジウム 戦国の城と道の実像を探る ~加越国境城跡群及び道~

加賀と越中の国境付近の街道沿いには多くの山城が築かれたが、中でも代表的な城跡である前田利家方の切山城と佐々成政方の松根城は、羽柴秀吉と織田信雄・徳川家康の小牧・長久手の戦いによる、天下の覇権抗争の縮図となった両者の対立を物語るものである。

これらの城郭と共に築城の地理的要因となった小原越が、一体的な文化財として平成27年10月7日付けで国史跡に指定されたことを記念してシンポジウムを開催した。

実施日 平成27年12月6日（日）

会 場 石川県文教会館 ホール

内 容

- ・記念落語 春風亭昇太氏（落語家）
- ・記念講演 「加越国境城跡群の歴史的意義」千田嘉博氏（奈良大学学長）
- ・報告①「天正12年の加越国境の戦い」木越隆三氏（石川県金沢城調査研究所所長）
- ・報告②「加越国境城跡群及び道の調査成果」向井裕知（文化財保護課）
- ・パネルディスカッション『戦国の城と道の実像を探る』  
コーディネーター 谷内尾晋司氏（石川考古学研究会会長）  
パネリスト 春風亭昇太氏、千田嘉博氏、宮下英樹氏（漫画家）、木越隆三氏、向井裕知

参加者：485人



記念落語 春風亭昇太氏



記念講演 千田嘉博氏



宮下英樹氏



パネルディスカッション

## (6) 史跡探訪会

一般市民が実際に郷土の史跡や遺跡に触れることで、文化財愛護の精神を培うことを目的として「金沢市歴史遺産探訪月間」にあわせ、史跡探訪会を実施した。

### 【加賀八家墓所探訪会】

国史跡加賀藩主前田家墓所（金沢市野田町）に隣接する加賀八家墓所についてウォーキングを開催した。対象は野田山墓地に所在する加賀藩の執政を担った人持組頭のうち奥村支家、長家、前田土佐守家、横山家、奥村宗家、村井家を対象とし、要所で市職員が墓所の構造や墓石、被葬者等について解説を行った。前田家墓所と家臣墓所の位置関係や家毎に墓所の形態が異なる点などについて、理解度を深めることができた。

実施日：平成 27 年 10 月 12 日（月・祝）

参加者：37 人



加賀八家墓所探訪会

### 【古代の里探訪会】

国指定史跡である金沢市チカモリ遺跡、東大寺領横江荘遺跡上荒屋遺跡、野々市市御経塚遺跡、白山市東大寺領横江荘遺跡荘家跡をウォーキングで巡る探訪会を開催した。

コースは 3 市にまたがる遊歩道などを中心に設定し、ガイダンス施設と各史跡では担当者による説明と質疑応答が行われた。

実施日：平成 27 年 10 月 27 日（土）

参加者：30 人



古代の里探訪会

### 【加越国境城跡群及び道探訪会】

国指定史跡「加越国境城跡群及び道」の構成要素である松根城跡及び小原越の探訪会を、その一部を市域に含む小矢部市との共催事業として実施した。両市の参加者が松根城跡にて一堂に会し、それぞれの担当者の解説に耳を傾け、史跡に対する理解を深めた。また、両市民の参加者代表から挨拶があり、これからも共同で史跡を保護し活用していくことを再確認するなど、交流を深めた様子だった。

実施日：平成 27 年 11 月 3 日（火・祝）

参加者：80 人



加越国境城跡群

## (7) 現地説明会

発掘調査の成果を市民に還元する活動のひとつとして、現地説明会を実施している。この現地説明会は、市民が実際に発掘調査を行っている現場を直に見学できる数少ない機会となっており、埋蔵文化財を身近に感じることできるため、毎回好評を得ている。

今年度は、「金沢市歴史遺産探訪月間」の一環として木越遺跡群において現地説明会を開催し、千田北遺跡の現地見学および千田北遺跡・木越光徳寺跡・木越コウタイジン遺跡出土遺物の見学を行った。

### 《現地説明会一覧》

遺跡名	場 所	開催日	対象	参加者数
木越遺跡群（千田北遺跡ほか）	金沢市千田町地内	平成27年10月11日	一般市民	60人



千田北遺跡：遺構の解説



千田北遺跡：遺構の解説



千田北遺跡：遺物の解説



木越コウタイジン遺跡：遺物の見学

## (8) 史跡活用事業

一般市民に郷土の歴史・文化と埋蔵文化財についての理解を深めてもらい文化財愛護の精神を培うこととして各種イベントを開催している。対象は小学生から中学生およびその保護者を主とし、親子がふれあう機会を提供する場にもなっている。各イベントの実施概要は以下のとおりである。

なお、開催にあたっては石川県史跡整備市町協議会から助成金をうけている。

### 【史跡フェスタみわ】

国指定史跡東大寺領横江荘遺跡上荒屋遺跡の奈良・平安時代の初期荘園の風景を再現した上荒屋史跡公園を会場に、奈良・平安時代の生活体験イベントを平成9年度より行っている。今年度は雨天の為、三和公民館内で開催した。

実施日：平成27年7月18日（土）

主な内容：古代衣裳試着体験 古代食試食体験

火起こし体験 勾玉作り 土器作り  
まゆ糸取り体験等

参加者：約120人

委託先：金沢市三和公民館振興協力会



勾玉作り体験（史跡フェスタみわ）

### 【チカモリ縄文まつり】

国指定史跡チカモリ遺跡の縄文時代の遺構を復元したチカモリ遺跡公園を会場に、縄文時代の生活を体験するイベントを平成7年度より行っている。

実施日：平成27年8月2日（日）

主な内容：火起こし体験 勾玉作り 土器作り

縄文食試食体験 クルミ割り体験  
貫頭衣試着体験 ハンターゲーム等

参加者：約300人

委託先：金沢市西南部公民館振興協力会



火起こし体験（チカモリ縄文まつり）

### 【チカモリ学習会】

チカモリ縄文まつりの一環として、地域の方々にチカモリ遺跡および縄文時代の生活について理解を深めてもらうため、下記のとおり学習会を開催した。

実施日：平成27年7月18日（土）

主な内容：縄文時代の生活の様子について

講師：谷口担当課長補佐（埋蔵文化財センター）

参加者：約40名

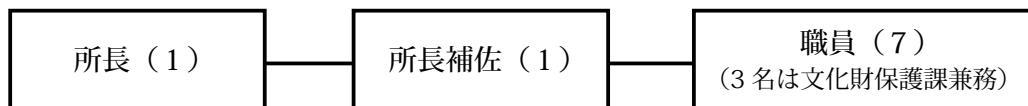
主催：金沢市三和公民館振興協力会



チカモリ学習会

## 4. 組織

平成 28 年 3 月 31 日現在



金沢市都市政策局歴史文化部  
文化財保護課長が兼務

## 平成 27 年度 金沢市埋蔵文化財調査年報

平成 28 年 4 月 30 日発行

発行 金沢市

編集 金沢市埋蔵文化財センター

〒 920-0374

金沢市上安原南 60 番地

TEL : 076-269-2451

FAX : 076-269-2452

Mail : maibun@city.kanazawa.lg.jp

